SONY

3-097-069-**03** (1)

デジタルフォト プリンター

DPP-FP70/FP90

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「はじめにお読みください」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

別冊の「はじめにお読みください」もお読みください。

⚠警告　安全のために

➡ 74～76ページもあわせてお読みください。

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

74~76ページの注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

注意

指挟み

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機は「JIS C 61000-3-2適合品」です。

ACアダプターは容易に手が届くようなコンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

各種CD、TV映像、画像等著作権の対象となっている著作物、その他あなたが撮影、制作した映像以外のものを複製、編集、印刷することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物、編集物、印刷物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製、編集、印刷や、複製物、編集物、印刷物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。また、本機においての写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することになりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。
なお、実演、興行、展示物の中には撮影を限定している場合がありますのでご注意ください。

記録内容の保証はできません

万一、本製品の不具合により、プリントや記録ができなかった場合、および記録内容が破損または消去された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

ご注意

- 画面に表示される画像と実際にプリントされる画像では、画質または色が異なる場合があります。これは、発色方法の違いや液晶画面個々の特性の違いによるもので、画面に表示される画像はあくまで目安とお考えください。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 液晶画面を太陽に向けたままにしないでください。故障の原因となります。
- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。なお、これらの点は印刷されません。
- 寒い場所で使うと、画面が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

商標について

- Cyber-shotはソニー株式会社の商標です。
- "Memory Stick" 、"メモリースティック"、MEMORY STICK TM 、 "Memory Stick PRO" 、"メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick Duo" 、"メモリースティックデュオ"、MEMORY STICK DUO、 "Memory Stick PRO Duo" 、"メモリースティック PROデュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"MagicGate"、"マジックゲート"、MAGICGATE、"Memory Stick Micro" 、"メモリースティックマイクロ"、"M2"は、ソニー株式会社の商標です。

安全のために

- 本機には顔検出機能が搭載されています。顔検出機能は、ソニーが開発した「Sony Face Recognition」を使用してます。
- Microsoft、Windows、Windows Vistaおよび DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Intel、PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- コンパクトフラッシュ(CompactFlash)は、米国サンディスク社の商標です。
- 、xD-Picture Card™は、富士写真フイルム(株)の商標です。
-

は、米国FotoNation Inc.の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- True Typeフォントのラスタライズ処理は、FreeType Teamのソフトウェアをベースにしています。
- 本ソフトウエアの一部は、Independent JPEG Group の研究成果を使用しています。
- Libtiff
  Copyright © 1988-1997 Sam Leffler
  Copyright ©1991-1997 Silicon Graphics, Inc.
  Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee.
- Zlib
  ©1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler

目次

お使いになる前に

いろいろなプリントを楽しむ

PictBridge対応カメラや外部機器からプリントする

パソコンからプリントする（PCモード）

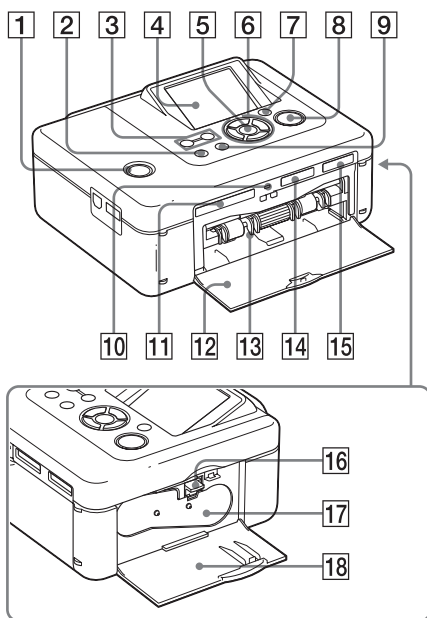
困ったときは

その他

別冊の「はじめにお読みください」に操作方法などの詳しい説明が載っている場合、本書では「**➡別冊「はじめにお読みください」**」のようにご案内しています。

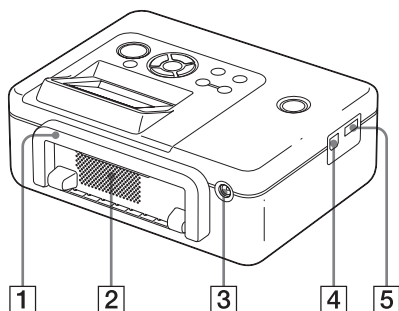
本書のイラスト、画面表示について
特に説明が必要な所を除き、DPP-FP70を使用しています。

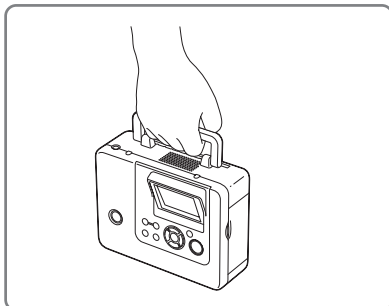
各部のなまえ

詳しい説明は、（　）内のページをご覧ください。
イラストはDPP-FP70です。DPP-FP90は、液晶画面の大きさが違いますが、ボタン、端子の位置、名称はDPP-FP70と同じです。

本体前面

1 ⏻（電源）スイッチ／ランプ（→別冊「はじめにお読みください」）
2 メニューボタン（→11、12、18、25～30、33ページ）
3 ⊖（縮小）/⊕（拡大）ボタン
4 液晶画面（8ページ）

2.5型（DPP-FP70）　3.6型（DPP-FP90）

5 決定ボタン
6 方向（△/▽/◁/▷）ボタン
7 くっきり補正（自動補正）ボタン（→10ページ）
8 印刷ボタン／ランプ（→別冊「はじめにお読みください」）
9 取消ボタン
10 アクセスランプ
11 コンパクトフラッシュカード（CompactFlash）スロット（→別冊「はじめにお読みください」）
12 ペーパートレイ挿入ドア（→別冊「はじめにお読みください」）
13 ペーパートレイ挿入部
14 SDカード（SD/miniSD）スロット（→別冊「はじめにお読みください」）
15 "メモリースティック　PRO" (Standard/Duo)スロット（→別冊「はじめにお読みください」）
16 インクリボン取り出しレバー（→別冊「はじめにお読みください」）
17 インクリボン（別売）（→別冊「はじめにお読みください」）
18 インクリボンカバー（→別冊「はじめにお読みください」）

本体裏面

1 ハンドル
持ち運ぶときは、ハンドルを下図のようにおこして使用します。プリント時には元の位置に戻してお使いください。

ご注意

- 持ち運ぶ際は、必ずメモリーカードおよび、ペーパートレイは本機から取りはずしてください。故障の原因になります
- DPP-FP90の場合は液晶画面を元に戻してください。

2 通風口

3 DC IN 24V端子（→別冊「はじめにお読みください」）
付属のACアダプターのプラグを差し込み、電源コードでACアダプターと家庭用電源を接続します。

本体左側面

4 USB端子（→39ページ）
PCモードで本機をお使いになるとき、パソコンのUSB端子と接続します。

5 PictBridge/EXT INTERFACE端子（→35ページ）
PictBridge対応のデジタルカメラ、USBマスストレージ対応のデジタルカメラ、USBメモリー、Photoストレージなどの機器を接続します。

画面の表示

一枚表示画面

[決定] ボタンを押すたびに、液晶画面の表示が左のように順番に切り替ります。別の画像を表示するには、◁/▷ボタンを押します。

1 **入力、設定表示**
表示されている画像の入力、設定情報が表示されます。

表示	意味
	"メモリースティック"入力 SDカード入力 コンパクトフラッシュカード入力 外部機器入力表示
	プロテクト表示
	DPOF（プリント予約）表示
	関連付けファイル表示 （Eメール用の小さな画像や動画などの関連ファイルがあるときに表示されます。）

2 **選択画像数/全画像数**

3 **インクリボン種類表示**
P: Pサイズ（ポストカードサイズ）
L: Lサイズ
C:クリーニングカセット

4 **画像番号（フォルダ-ファイル番号）***
（*DCF準拠の画像の場合。DCF準拠でないファイルは、ファイル名の一部が表示されます。）

5 **ガイドメッセージ**

6 **撮影年月日**

7 **プリント枚数設定**
△/▽ボタンを押して、枚数を増減できます。プリント枚数は、1枚につき20枚まで設定することができます。
- プリント枚数を1枚ずつ増やすには、△ボタンを繰り返し押します。
- プリント枚数を1枚ずつ減らすには、▽ボタンを短く繰り返し押します。
- プリント枚数を一度に「0」に戻すには、▽ボタンを繰り返し押す、または2秒以上押し続けます。

8 スクロールバー（全画像数内で、この画像の位置を表示）

9 画像詳細表示

画像一覧表示画面

DPP-FP70

DPP-FP90

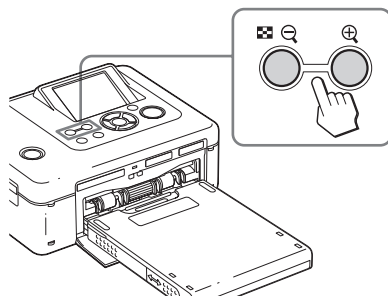
1 カーソル（オレンジ枠）
△/▽/◁/▷ボタンを押して、カーソルの位置（選択画像）を移動できます。

2 ガイドメッセージ

3 スクロールバー（全画像数内で、この画像の位置を表示）

一枚表示と画像一覧表示を切り換える

画面の表示を、一枚表示と画像一覧表示に切り換えることができます。

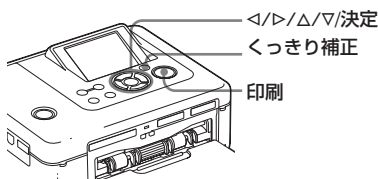
- **画像一覧画面を表示する**
  一枚表示画面で、⊖（縮小）ボタンを押します。⊖（縮小）ボタンを押し続けると、画像が拡大表示されている場合は、等倍表示後、一枚表示から画像一覧表示に切り換わります。
- **一枚表示画面を表示する**
  画像一覧表示で、◁/▷/△/▽ボタンで一枚表示したい画像を選び、⊕（拡大）ボタンまたは、決定ボタンを押します。
  画面が画像一覧表示から一枚表示に切り換わります。
- **画像を拡大する**
  ⊕（拡大）ボタンを押し続けます。
  画像が、最大5倍まで6段階（等倍、1.5倍、2倍、3倍、4倍、5倍）に拡大表示されます。

失敗写真を自動的に補正する（くっきり補正）

くっきり補正とは？

オートファインプリント4による自動補正に加えて次のような自動補正を行います。

- 顔検出機能を使った明るさ補正
  人物の顔を自動検出し、顔の明るさが最適となるように明るさを補正します。
- ピンぼけの補正
  ピンぼけの程度を自動判別し、ピントの合った画像に補正します。
- 赤目の補正
  フラッシュによる赤目を自動修正します。

くっきり補正プリントをおこなう

くっきり補正プリントで使うボタン

1 画像を選ぶ。
プリントしたい画像が表示されるまで◁/▷ボタンを押します。複数の画像をプリントする場合には、あらかじめ枚数を設定しておきます。

2 くっきり補正ボタンを押す。
選択した画像の補正が始まり、結果を表示します。人物の顔を検出した場合には途中経過として検出した顔に枠が表示されます。

補正の効果を確認するには
⊕ボタンを押して画像を拡大表示します。

元の画像（補正前の画像）を再度見るには
くっきり補正ボタンを押します。補正後の画像に戻すには、再度くっきり補正ボタンを押します。

複数画像をプリント設定している場合は
選択されている画像は、すべて補正されます。◁/▷ボタンで画像を送ることができます。

3 印刷ボタンを押す。
選択した画像のプリントが始まります。

ちょっと一言
補正されるのは印刷結果のみで、オリジナル画像は補正前のままです。

ご注意
- 画像によっては人物の顔を自動判別できない場合があります。顔の明るさが適切に補正されない場合には、画像編集の画質調整機能を使って手動で明るさを調整してください。（14ページ）
- 画像によってはピンぼけの補正が適切にできない場合があります。この場合は、画像編集の画質調整機能を使って手動でシャープネスを調整してください。（14ページ）
- ピンぼけの補正は手ブレ画像には効果がありません。
- 画像によっては赤目の補正ができない場合があります。この場合は、画像編集の赤目の補正機能を使って手動で赤目を修正してください。（16ページ）

本機の自動赤目補正は、米国FotoNation Inc.の技術を使用してます。

簡単プリントでまとめてプリントする

（インデックス/DPOF/全画像）

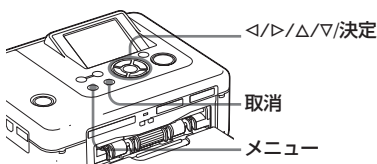
メニューの簡単プリント機能を使って、メモリーカードまたは外部機器に保存されている画像をまとめてプリントすることができます。簡単プリントには、次の3種類があります。

- **インデックスプリント**
  メモリーカードまたは外部機器内の全画像を分割画面でプリントできます。画像を確認するときに便利なプリントです。分割画面数は自動的に計算され、各画像は画像番号とともにプリントされます。

- **DPOFプリント**
  一枚表示画面で、プリントマーク（ ）の付いた画像（デジタルカメラなどでDPOF（Digital Print Order Format）でプリント予約された画像）を、表示順に予約された枚数、まとめてプリントできます。
- **全画像プリント**
  メモリーカードまたは外部機器内の全画像をプリントすることができます。

ご注意

- デジタルカメラなどでのプリント予約方法については、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- デジタルカメラなどにはプリント予約に対応していない機種もあります。また、機種によっては本機では対応できない場合もあります。

簡単プリントで使うボタン

1 メニューボタンを押す。
メニューが表示されます。

メニューを消して元の画面に戻るには
再度メニューボタンを押します。

2 ◁/▷ボタンで、(簡単プリント)を選び、決定ボタンを押す。
簡単プリントメニューが表示されます。

次のページにつづく

3 **△/▽ボタンで、[インデックスプリント]、[DPOFプリント] または [全画像プリント] のいずれかを選び、 決定ボタンを押す。**

確認画面が表示されます。

ご注意

[DPOFプリント] を選んだ場合、DPOFでプリント予約された画像がない場合は、エラーメッセージが表示され選べません。

4 **プリントを開始したい場合は◁/▷ボタンで [はい] を、プリントを中止したい場合は [いいえ] を選び、決定ボタンを押す。**

「はい」を選んだときは、プリントが始まります。

プリント中は画面にプリント経過が表示されます。

プリントが終わると、プリントペーパーがペーパートレイに出てきます。

5 **プリントペーパーを取り出す。**

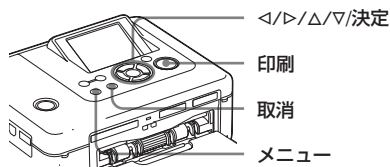
ちょっと一言

- インクリボンの残量がプリント枚数よりも少ない場合も、継続して印刷できます。途中でガイドメッセージが表示されますので、指示に従ってインクリボンを入れ換えてください。(「はじめにお読みください」参照)
- [画質の設定]メニュー(32ページ)で[日付プリント]が[入]に設定されているときは、撮影または保存年月日がプリントされます。

画像を編集する

画像編集メニューを表示する

画像編集メニューを画面に表示し、メモリーカードや外部機器の画像の加工や編集ができます。表示されている画像を印刷したり、保存できます。

画像編集で使うボタン

1 **加工したい画像を表示する。**

編集したい画像を一枚表示するか、画像一覧表示でカーソルを移動して選択します。

2 **メニューボタンを押す。**

メニューが表示されます。

メニューを消して元の画面に戻るには

再度メニューボタンを押します。

3 **◁/▷ボタンで、(画像編集) を選び、決定ボタンを押す。**

画像編集メニューが表示されます。

項目	機能
⊖/⊕	本体のボタンを押すことにより、画像を拡大、縮小します。
	画像を移動します。
	画像を回転します。
	画質を調整します。
	画像に特殊効果を付けます。
	赤目の補正を行います。
	画像編集を無効にし、画像を編集前の状態に戻します。
	編集した画像を保存します。
	［画像編集］メニューを終了します。

ちょっと一言

画像編集作業中もメニューボタンから一部のメニューの設定ができます。

画像を拡大・縮小する

1 画像編集メニューを表示する。

2 拡大するには本体の⊕（拡大）ボタンを、縮小するには⊖（縮小）ボタンを押す。

ボタンを押すたびに、拡大／縮小率が増加します。

- ⊕：200%まで拡大できます。
- ⊖：60%まで縮小できます。

ご注意

拡大した場合は、画像サイズによっては画質が低下することがあります。

画像を移動する

1 画像編集メニューを表示する。

2 ◁/▷ボタンで、（移動）を選び、決定ボタンを押す。

画像の上下左右に矢印（◁/▷/△/▽）が表示され、画像が移動できるようになります。

2 ◁/▷/△/▽ボタンを押して、画像を移動する。

画像が選んだ方向に移動します。

次のページにつづく

4 決定ボタンを押す。

位置が確定します。

ちょっと一言

表示されている画像をプリントするには印刷ボタンを押します（17ページ）。

画像を回転する

1 画像編集メニューを表示する。（12ページ）

2 ◁/▷ボタンで、（回転）を選び、決定ボタンを押す。

回転メニューが表示されます。

3 △/▽ボタンで、回転方向を選び、決定ボタンを押す。

- ＋90゜回転：時計方向に90度回転します。
- －90゜回転：反時計方向に90度回転します。

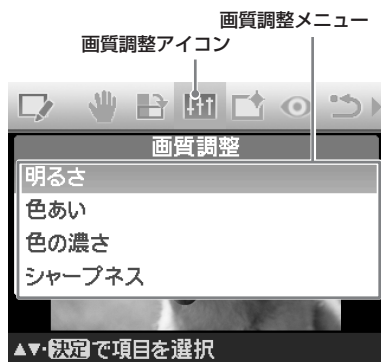
ちょっと一言

表示されている画像をプリントするには印刷ボタンを押します。（17ページ）

画質を調整する

1 画像編集メニューを表示する。（12ページ）

2 ◁/▷ボタンで、（画質調整）を選び、決定ボタンを押す。

画質調整メニューが表示されます。

3 △/▽ボタンで調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。

それぞれの項目の調整画面が表示されます。

［明るさ］を選んだ場合

4 スライダーでレベルを確認しながら調整する。

- **明るさ**
  画像を全体的に明るくするには▷を、暗くするには◁を押します。
- **色あい**
  緑っぽい色あいにするには▷を、赤っぽい色あいにするには◁を押します。
- **色の濃さ**
  全体的に色を濃くするには▷を、薄くするには◁を押します。
- **シャープネス**
  画像の輪郭を鮮明にするには▷を、ぼかすには◁を押します。

5 決定ボタンを押す。

画質調整が働きます。画像編集メニューに戻ります。

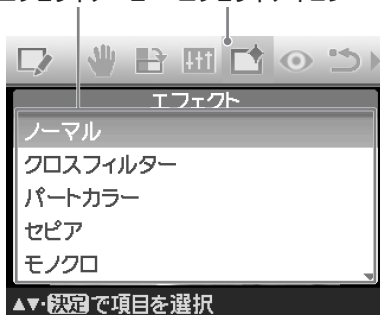
ちょっと一言

表示されている画像をプリントするには印刷ボタンを押します（17ページ）。

画像に特殊な効果を付ける（エフェクト）

1 画像編集メニューを表示する。（12ページ）

2 ◁/▷ボタンで、（エフェクト）を選び、決定ボタンを押す。

エフェクトメニューが表示されます。

3 △/▽ボタンで、画像に付けたい特殊効果を選ぶ。

- ノーマル：特殊効果を付けていない状態に戻ります。
- クロスフィルター：光源を十字に輝かせることで、きらびやかな印象にしあげます。
- パートカラー：周囲を白黒にして、中心の被写体を引き立たせます。
- セピア: 色褪せた古い写真のような画像になります。
- モノクロ：白黒写真のような画像になります。
- ペイント: 水彩画のような画像になります。
- 魚眼：魚眼レンズで撮影した写真のような画像になります。

4 決定ボタンを押す。

クロスフィルター以外の効果を選択した場合は、特殊効果が付きます。
クロスフィルターを選択した場合は、設定画面が表示されます。手順5に進んでください。

5 クロスフィルターのレベルや範囲を設定する。

① △/▽ボタンで［レベル］を選び、決定ボタンを押す。△/▽ボタンでレベルを調整し、決定ボタンを押す。
レベルが上がると、より多くの光源がきらびやかになります。

② △/▽ボタンで［長さ］を選び、決定ボタンを押す。△/▽ボタンで光の長さを調整し、決定ボタンを押す。

次のページにつづく

③ △/▽ボタンでOKを選び、決定ボタンを押す。

ちょっと一言

表示されている画像をプリントするには印刷ボタンを押します（17ページ）。

赤目を補正する

フラッシュを使って撮影した画像などで、赤く写ってしまった被写体の目を、くっきり補正ボタンで直すことができなかった場合に、手動で補正することができます。

ご注意

赤目の補正後に、拡大、縮小、回転、移動を行うと正しく補正されないことがあります。画像の拡大、縮小、回転、移動後に赤目の補正を行うようにしてください。

1 **画像編集メニューを表示する。****（12ページ）**

2 **◁/▷ボタンで、（赤目の補正）を選び、決定ボタンを押す。**

画像内に、赤の補正枠が表示されます。枠は、赤目の補正を行う範囲を表しています。

補正枠

3 **補正枠の位置と大きさを調整する。**

片目ずつ補正を行ってください。

■ 補正枠の位置を移動するには

① ◁/▷ボタンで、（移動）を選び、決定ボタンを押す。

② ◁/▷/△/▽ボタンを押して補正枠を移動する。

③ 決定ボタンを押す。
補正枠の位置が確定します。

■ 補正枠の大きさを変更するには

◁/▷ボタンで、拡大するにはを、縮小するにはを選び、決定ボタンを押します。

決定ボタンを押すたびに、補正枠が拡大、または縮小します。

本体の、ボタンを押しても、拡大、縮小することができます。

ちょっと一言

補正枠は瞳の大きさの2~7倍の大きさに設定してください。

4 **◁/▷ボタンで、OKを選び、決定ボタンを押す。**

補正範囲が拡大されて表示されます。

5 **決定ボタンを押す。**

赤目の補正が確定し、赤目補正メニューに戻ります。複数の補正をするには手順3～5を繰り返します。

6 **◁/▷ボタンで、を選び、決定ボタンを押す。**

画像編集メニューに戻ります。

補正を取り消すには

手順5で取消ボタンを押します。手順2の画面に戻ります。

ちょっと一言

表示されている画像をプリントするには印刷ボタンを押します（17ページ）。

編集した画像をプリントする

1 **印刷ボタンを押す。**
プリント枚数が表示されます。

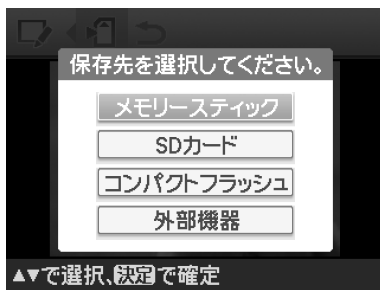
2 **△/▽ボタンを押して、プリント枚数を設定する。**
- プリント枚数を1枚ずつ増やすには、△ボタンを繰り返し押します。
- プリント枚数を1枚ずつ減らすには、▽ボタンを短く繰り返し押します。
- プリント枚数を1枚に戻すには、▽ボタンを2秒以上押し続けます。

3 **印刷ボタンを押す。**
表示されている画像がプリントされます。

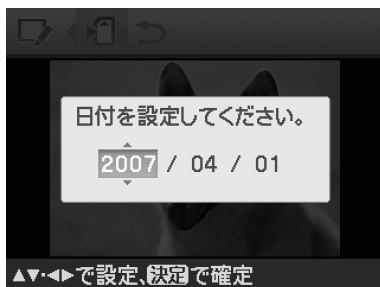
編集した画像を保存する

画像編集やクリエイティブプリントを終了したり、(保存) を選ぶと、画像の保存先を選ぶダイアログボックスが表示されます。画像は、新しい画像番号で保存することができます。

ちょっと一言
元の画像は上書きされません。

1 **保存先を選ぶ。**
△/▽ボタンで保存先のメモリーカード([メモリースティック]、[SDカード]、[コンパクトフラッシュ] または [外部機器] を選び、決定ボタンを押します。

ちょっと一言
外部機器を選択した場合、ドライブ選択画面がが表示される場合があります。画面にしたがって、保存先のドライブを選択してください。

日付けの設定画面が表示されます。設定した日付で保存されます。

2 **日付けを設定する。**
△/▽ボタンで数字を選び、◁/▷ボタンで項目（年、月、日）を選び、決定ボタンを押します。

画像編集またはクリエイティブプリントでの編集結果が、新規の画像として保存されます。画像の保存番号が表示されます。

3 **決定ボタンを押す。**

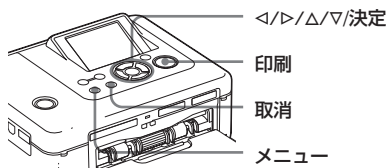
ご注意
画像の保存中は、電源を切ったり、メモリーカードや外部機器を取りはずしたりしないでください。本機やメモリーカードを破損したり、データを破損する場合があります。

クリエイティブプリントを作る

クリエイティブプリントメニューを画面に表示し、メモリーカードや外部機器の画像の加工や編集ができます。

メニュー	できること
分割写真	2/4/9/13/16分割写真が作れます。
カレンダー	画像や月を選び、オリジナルカレンダーが作れます。
証明写真	縦横のサイズを自由に指定して、パスポートなどの証明写真が作れます。
スーパーインポーズ	好きな画像の上に手書きの文字やイラストなどを貼付けることができます。

クリエイティブプリントメニューを表示する

クリエイティブプリントで使うボタン

ご注意

用紙サイズによって、選べるひな形の種類が異なります。あらかじめインクリボンとプリントペーパーをセットしたサイズでクリエイティブプリントのひな形を選択してください。

作成後のインクリボンとプリントペーパーのサイズ変更は行なわないでください。

1 メニューボタンを押す。

メニューが表示されます。

メニューを消して元の画面に戻るには

再度メニューボタンを押します。

2 ◁/▷ボタンで、（クリエイティブプリント）を選び、決定ボタンを押す。

クリエイティブプリントメニューが表示されます。

途中で操作をやり直すには

取消ボタンを押します。ひとつ前の手順の画面が表示されます。操作手順によってはやり直せない場合もあります。

ちょっと一言

クリエイティブプリント作業中もメニューボタンを押して他のメニューを選び、一部のメニューの設定ができます。

クリエイティブプリントを終了するには

- 操作途中で、メニューボタンを押し、[クリエイティブプリントの終了] を選びます。
- プレビュー画像で ✕ を選び、決定ボタンを押します。
  画像の保存の確認画面が表示される場合があります。（17ページ）

分割写真を作る

以下のような分割写真が作れます。

- Lサイズ：2分割、4分割、9分割
- Pサイズ：2分割、4分割、9分割、13分割、16分割

1 クリエイティブプリントメニューを表示する。**（18ページ）**

2 ◁/▷/△/▽ボタンで、[分割写真] を選び、決定ボタンを押す。

分割写真のひな形を選ぶ画面が表示されます。

3 ◁/▷/△/▽ボタンでひな形を選び、決定ボタンを押す。

選択したひな形のプレビュー画像が表示されます。

画像エリア

次のページにつづく

ちょっと一言
どの画像エリアから選択してもかまいません。

4 **◁/▷/△/▽ボタンで画像エリアを選び、決定ボタンを押す。**
画像選択画面が表示されます。

5 **◁/▷/△/▽ボタンで画像を選び、決定ボタンを押す。**
画像の位置と大きさの調整画面が表示されます。

6 **画像の位置と大きさを調整する。**
◁/▷ボタンで調整ボタンを選び、決定ボタンを押します。

項目	操作方法
⊖/⊕	本体のボタンを押すことにより、画像を拡大、縮小します。
(移動アイコン)	◁/▷/△/▽ボタンを押して移動し、決定ボタンで位置を確定します。
(回転アイコン)	決定ボタンを押すと、時計方向に90度回転します。
くっきり補正	本体のボタンを押すことにより、失敗写真（逆光、ピンボケ、赤目など）を自動的に補正します。

7 **◁/▷ボタンで OK を選び、決定ボタンを押す。**
画像が画像エリアに追加されます。複数の画像のひな形を選んだ場合は、手順4から7を繰り返します。

ちょっと一言
表示されている分割写真を保存、またはプリントするには、17ページをご覧ください。

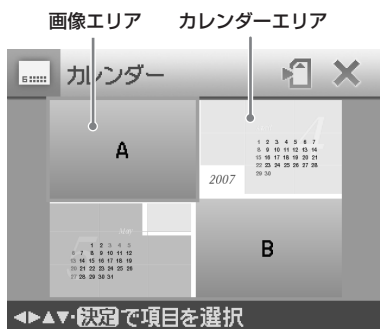
カレンダーを作る

画像や月を選び、オリジナルカレンダーが作れます。

1 **クリエイティブプリントメニューを表示する。****（18ページ）**

2 **◁/▷/△/▽ボタンで、[カレンダー]を選び、決定ボタンを押す。**
カレンダーのひな形を選ぶ画面が表示されます。

ちょっと一言
ペーパーサイズによって選択できるひな形は異なります。

3 **◁/▷/△/▽ボタンでひな形を選び、決定ボタンを押す。**
選択したひな形のプレビュー画像が表示されます。

ちょっと一言

どのエリアを先に選択してもかまいません。

4 画像を選択する。

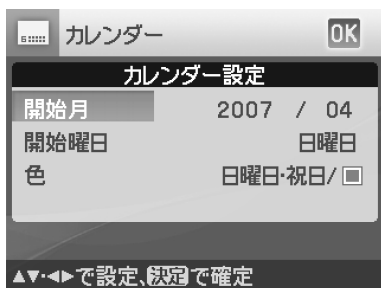
複数の画像が入るひな形を選んだときは、それぞれの画像エリアについて画像を選びます。

① ◁/▷/△/▽ボタンで画像エリアを選び、決定ボタンを押す。
画像選択画面が表示されます。

② ◁/▷/△/▽ボタンで画像を選び、決定ボタンを押す。
画像の位置調整画面が表示されます。調整方法については、20ページをご覧ください。

③ ◁/▷ボタンで OK を選び、決定ボタンを押す。
画像が画像エリアに追加されます。

5 カレンダーを設定する。

① ◁/▷/△/▽ボタンでカレンダーエリアを選び、決定ボタンを押す。
カレンダー設定画面が表示されます。

② カレンダーの各項目を設定する。
△/▽ボタンで項目を選び、◁/▷ボタンで設定を変更します。

項目	操作方法
開始月	カレンダーを開始する年と月を設定します。 ◁/▷ボタンで年を選び、△/▽ボタンで数値を変更し、決定ボタンを押します。同様に月も設定します。
開始曜日	カレンダーの左端にくる曜日を設定します。 △/▽ボタンで［日曜日］または［月曜日］を選び決定ボタンを押します。
色	休日の表示色を設定します。 △/▽ボタンで日曜日・祝日・土曜日の文字色を選び決定ボタンを押します。

③ ◁/▷/△/▽ボタンでOKを選び、決定ボタンを押す。
カレンダーがカレンダーエリアに表示されます。

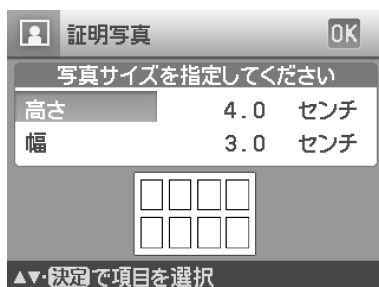
ちょっと一言

表示されているカレンダーを保存、またはプリントするには、17ページをご覧ください。

いろいろなプリントを楽しむ

証明写真を作る

縦横のサイズを自由に指定して、印刷できます。パスポートなどの証明写真や小さな写真立て用に便利です。

1. **クリエイティブプリントメニューを表示する。(18ページ)**
2. **◁/▷/△/▽ボタンで、[証明写真] を選び、決定ボタンを押す。**
   証明写真の高さ、幅を指定する画面が表示されます。

ちょっと一言
高さ(縦)、幅(横)ともに2.0〜6.0cmの間でサイズ指定が可能です。

3. **△/▽ボタンで、調整したい項目、「高さ」または「幅」を選び、決定ボタンを押す。**
   カーソルが数字側に移動します。
4. **△/▽ボタンででサイズを設定し、決定ボタンを押す。**
   設定したサイズのレイアウトイメージが表示されます。
5. **「高さ」、「幅」のもう一方のサイズも設定したい場合は、手順3と4を繰り返す。**
6. **△/▽ボタンで OK を選び、決定ボタンを押す。**
   画像選択画面が表示されます。
7. **◁/▷/△/▽ボタンで画像を選び、決定ボタンを押す。**
   画像の調整画面が表示されます。
8. **画像の位置と大きさを調整する。**
   ◁/▷ボタンで調整ボタンを選び、決定ボタンを押します。

項目	操作方法
⊖/⊕	本体のボタンを押すことにより、画像を拡大、縮小します。
	◁/▷/△/▽ボタンを押して移動し、決定ボタンで位置を確定します。
	決定ボタンを押すと、時計方向に90度回転します。
	△/▽ボタンで調整したい項目を選び、決定ボタンを押します。調整スライダーが表示されます。◁/▷ボタンで、画像の明るさ、色合い、色の濃さ、またはシャープネスを調整し、決定ボタンを押します。(14ページ)

項目	操作方法
W B	画像をモノクロ（白黒）にします。
👁	赤目補正の画面が表示されます。（16ページ）
くっきり補正	本体のボタンを押すことにより、失敗写真（逆光、ピンボケ、赤目など）を自動的に補正します。

9 **◁/▷ボタンで OK を選び、決定ボタンを押す。**

証明写真のプレビュー画像が表示されます。

ちょっと一言

表示されている証明写真を保存、またはプリントするには、17ページをご覧ください。

ご注意

本機でプリントした写真が証明写真としてご利用できない場合があります。事前に提出先に必要条件をご確認ください。

手書き／定型メッセージをスーパーインポーズする

好きな画像の上に、手書きの文字、イラストや、定型メッセージなどを貼付けること（スーパーインポーズ）ができます。

ちょっと一言

手書きの文字やイラストの場合は、あらかじめ白い用紙に黒いペンなどでスーパーインポーズしたい文字などを描き、デジタルカメラで撮影し、メモリーカードに用意しておくと便利です。「スーパーインポーズ文例集」（77ページ）もお使いいただけます。

1 **クリエイティブプリントメニューを表示する。（18ページ）**

2 **◁/▷ボタンで、[スーパーインポーズ] を選び、決定ボタンを押す。**

画像選択画面が表示されます。

3 **背景になる画像を選ぶ。**

① ◁/▷/△/▽ボタンで背景にしたい画像を選び、決定ボタンを押す。
画像の位置調整画面が表示されます。調整方法については、20ページをご覧ください。

② ◁/▷ボタンで OK を選び、決定ボタンを押す。
プレビュー画面が表示されます。

4 **手書きの文字やイラスト、または定型メッセージを選び画像上にスーパーインポーズする。**

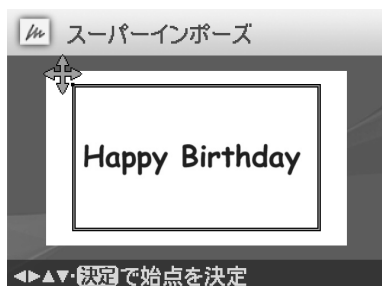
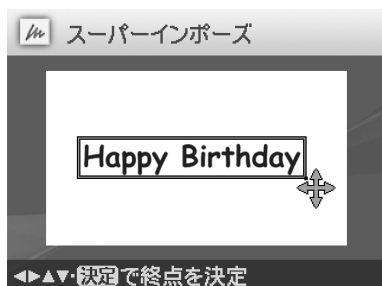
■ 手書きメッセージをスーパーインポーズする

① ◁/▷ボタンで、（手書きメッセージ）を選び、決定ボタンを押す。

画像選択画面が表示されます。

② ◁/▷/△/▽ボタンでスーパーインポーズしたい画像を選び、決定ボタンを押す。
用意した画像を選びます。トリミング用のカーソルが表示されます。

次のページにつづく

③ ◁/▷/△/▽ボタンでトリミングの始点にしたい場所にカーソルを移動し、決定ボタンを押す。

④ 同様にトリミングの終点を設定する。

色選択画面が表示されます。

⑤ ◁/▷ボタンで色を選び、決定ボタンを押す。
貼付け画像の位置調整画面が表示されます。調整方法については、20ページをご覧ください。

⑥◁/▷ボタンで OK を選び、決定ボタンを押す。
プレビュー画像が表示されます。背景の画像上に手書きの文字またはイラストが表示されます。

■ **定型メッセージをスーパーインポーズする**

① ◁/▷ボタンで、T(定型メッセージ)を選び、決定ボタンを押す。
定型メッセージ選択画面が表示されます。

② △/▽ボタンでスーパーインポーズしたい定型メッセージを選び、決定ボタンを押す。
色選択画面が表示されます。

③ ◁/▷/△/▽ボタンで色を選び、決定ボタンを押す。
定型メッセージの位置調整画面が表示されます。調整方法については、20ページをご覧ください。

④ ◁/▷ボタンで OK を選び、決定ボタンを押す。
プレビュー画像が表示されます。メッセージが背景の画像上に表示されます。

複数のメッセージを貼付けるには

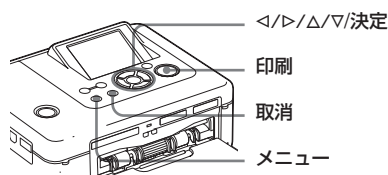
◁/▷ボタンで (手書きメッセージ) または T(定型メッセージ) を選び、決定ボタンを押し、手順4を繰り返します。

ちょっと一言

表示されているスーパーインポーズ写真を保存、またはプリントするには、17ページをご覧ください。

スライドショーを見る

メニューのスライドショー機能を使って、メモリーカードまたは外部機器内の画像を、次々に切り換えて表示するスライドショーを見ることができます。また、表示されている画像のプリントをすることができます（手動時）。

スライドショーで使うボタン

1 **メニューボタンを押す。**

メニューが表示されます。

メニューを消して元の画面に戻るには

再度メニューボタンを押します。

2 **◁/▷ボタンで、（スライドショー）を選び、決定ボタンを押す。**

スライドショーメニューが表示されます。

3 **△/▽ボタンで［切換え］を選び、決定ボタンを押す。**

スライドショーでの画像の切り換え方法を選ぶ画面が表示されます。

4 **△/▽ボタンで画像を自動で切り換えたいときは［自動］を、手動で切り換えたいときは［手動］を選び、決定ボタンを押す。**

5 **△/▽ボタンで［実行］を選び、決定ボタンを押す。**

- 「自動」を選んだとき：メモリーカードまたは外部機器内の画像が次々に自動的に切り換わり表示されます。
- 「手動」を選んだとき：スライドショーを選ぶ前に画像一覧画面でカーソルの当たっていた画像が表示されます。◁/▷ボタンで画像を送ります。

スライドショーを終了するには

取消ボタンを押します。

ちょっと一言

「手動」でスライドショーを実行しているときに、印刷ボタンを押して表示されている画像をプリントできます。

ご注意

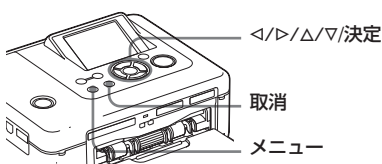
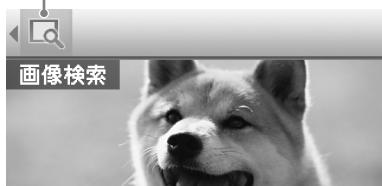
- 画像によっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 画像データが壊れているなどの理由で表示できない画像は、スライドショーでは表示されません。

画像を検索する

メニューの画像検索機能を使って、メモリーカードまたは外部機器内の画像を、画像番号や日付けで検索することができます。

ご注意

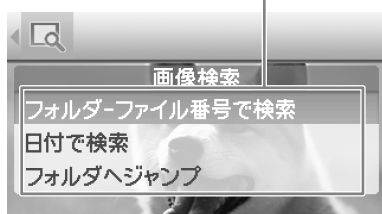
検索できるのは、DCFファイル形式で保存された画像に限ります。

画像の検索で使うボタン

1 **メニューボタンを押す。**

メニューが表示されます。

メニューを消して元の画面に戻るには

再度メニューボタンを押します。

2 **◁/▷ボタンで、（画像検索）を選び、決定ボタンを押す。**

画像検索メニューが表示されます。

3 **△/▽ボタンで検索方法を選び、決定ボタンを押す。**

検索条件を設定する画面が表示されます。

4 **◁/▷ボタンで項目を選び、△/▽ボタンで数字を設定する。**

■［フォルダーファイル番号で検索］を選んだ場合

検索したい画像の範囲を、最初と最後のフォルダ、ファイル番号（「フォルダ番号ーファイル番号」～「フォルダ番号ーファイル番号」）で指定します。

上の画面は、Cyber-shotで撮影したときの例です

■［日付で検索］を選んだときは

検索をしたい画像の日付けの範囲（「年月日」～「年月日」）を指定します。

■［フォルダへジャンプ］を選んだときは

検索をしたい画像のフォルダ番号を指定します。

5 **決定ボタンを押す。**

検索が開始し、検索結果が表示されます。

対象になる画像がなかった場合は

「画像が見つかりませんでした」と表示されます。

6 **決定ボタンを押す。**

検索された画像が表示されます。

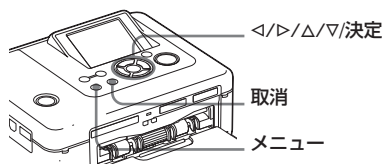
メニューに入る前の状態で、検索結果が表示されます。サムネールから検索した場合は、サムネールの該当画像に「01」が表示されます。

- 「フォルダーファイル番号で検索」または、「日付で検索」を選んだ場合は、検索された画像に「01」とプリント枚数が表示されます。
  画像一覧画面にすると、選択された画像を簡単に確認することができます。
- 「フォルダへジャンプ」を選んだ場合は、指定されたフォルダの最初あるいは最後の画像が一枚表示されます。

ちょっと一言

検索された画像をプリントするには、◁/▷/△/▽ボタンでプリントしたい画像を選び、決定ボタンを押して一枚表示にし、△/▽ボタンでプリント枚数を指定し、印刷ボタンを押します。

ファイル操作する

ファイル操作で使うボタン

画像をコピーする

メモリーカードの画像を、他のメモリーカード、またはPictBridge/EXT INTERFACE端子に接続している外部機器にコピーできます。

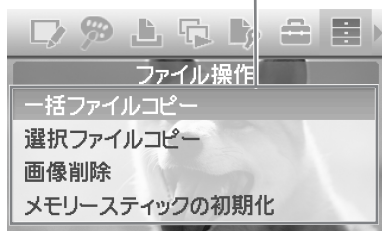
1 **メニューボタンを押す。**

メニューが表示されます。

メニューを消して元の画面に戻るには

再度メニューボタンを押します。

2 **◁/▷ボタンで、（ファイル操作）を選び、決定ボタンを押す。**

ファイル操作メニューが表示されます。

次のページにつづく

いろいろなプリントを楽しむ（ダイレクトプリント）

3 **△/▽ボタンで［一括ファイルコピー］または［選択ファイルコピー］を選び、決定ボタンを押す。**

- ［選択ファイルコピー］を選んだときは、メモリーカードまたは外部機器の画像一覧が表示されます。
- ［一括ファイルコピー］を選んだときは、コピー先選択画面が表示されます。手順5へ進んでください。

4 **◁/▷/△/▽ボタンでコピーしたい画像を選び、決定ボタンを押す。**

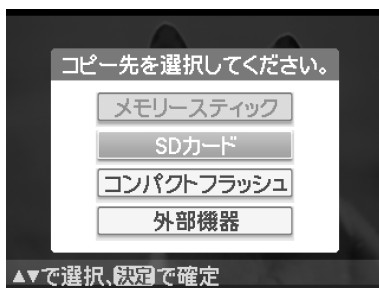
複数の画像をコピーするときは、この操作を繰り返します。

選択を解除するには

◁/▷/△/▽ボタンで選択を解除したい画像を選び、決定ボタンを押します。

5 **メニューボタンを押す。**

コピー先を選ぶダイアログボックスが表示されます。

6 **△/▽ボタンで、メモリーカード（［メモリースティック］、［SDカード］、［コンパクトフラッシュ］または［外部機器］からコピー先を選び、決定ボタンを押す。**

ちょっと一言

外部機器を選択した場合、ドライブ選択画面が表示される場合があります。画面にしたがって、保存先のドライブを選択してください。

ご注意

コピー元と同じメモリーカード、または外部機器にはコピーできません。

7 **△/▽ボタンでフォルダを選び、決定ボタンを押す。**

選択したフォルダ内に、画像がコピーされます。

ちょっと一言

取消ボタンを押すと、ファイル操作メニューが終了します。

ご注意

画像のコピー中は、電源を切ったり、メモリーカードや外部機器を外さないでください。プリンター本体、メモリーカード、外部機器、またはデータが破損する場合があります。

選んだ画像を削除する

メモリーカードの画像を選んで削除できます。

1 **メニューボタンを押す。**

メニューが表示されます。

2 **◁/▷ボタンで、（ファイル操作）を選び、決定ボタンを押す。**

ファイル操作メニューが表示されます。

3 **△/▽ボタンで［画像削除］を選び、決定ボタンを押す。**

メモリーカードの画像一覧画面が表示されます。

ゴミ箱アイコン

4 **◁/▷/△/▽ボタンで削除したい画像にゴミ箱アイコンを移動し、決定ボタンを押す。**

複数の画像を削除するときは、この操作を繰り返します。

選択を解除するには

◁/▷/△/▽ボタンで選択を解除したい画像を選び、決定ボタンを押します。

5 **メニューボタンを押す。**

確認のダイアログボックスが表示されます。

6 **◁/▷ボタンで［OK］を選び、決定ボタンを押す。**

選択した画像が削除されます。

ちょっと一言

取消ボタンを押すと、ファイル操作メニューが終了します。

ご注意

- 画像の削除中は、電源を切ったり、メモリーカードを取り出さないでください。プリンター本体、メモリーカード、またはデータが破損する場合があります。
- 削除した画像はもとに戻りません。実行する前に内容を確認してください。
- 関連ファイルマーク( )の付いた画像を削除した場合、Eメール用の画像や動画なども削除されます。
- プロテクトマーク( )またはプリント予約マーク( )の付いた保護されているファイルは削除できません。削除する場合は、デジタルカメラで操作してください。詳しくは、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

"メモリースティック"を初期化する

"メモリースティック"を初期化することができます。

1 **メニューボタンを押す。**

メニューが表示されます。

2 **◁/▷ボタンで、 (ファイル操作）を選び、決定ボタンを押す。**

ファイル操作メニューが表示されます。

3 **△/▽ボタンで［メモリースティックの初期化］を選び、決定ボタンを押す。**

確認ダイアログボックスが表示されます。

4 **◁/▷ボタンで［OK］を選び、決定ボタンを押す。**

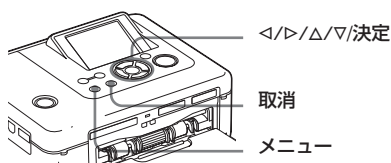
"メモリースティック"が初期化されます。

ご注意

- 初期化を行った場合、画像ファイル以外のファイルもすべてなくなります。
- "メモリースティック"の初期化中は、電源を切ったり、メモリーカードを取り出さないでください。プリンター本体やメモリーカードが破損する場合があります。
- "メモリースティック"以外のメモリーカードや外部機器の初期化はできません。

プリント時の設定を変える

メニューのプリント設定を使って、プリント時の設定を変更することができます。

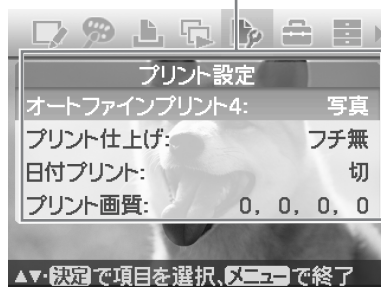
プリント設定メニューで使うボタン

1 **メニューボタンを押す。**

メニューが表示されます。

メニューを消して元の画面に戻るには

再度メニューボタンを押します。

2 **◁/▷ボタンで、（プリント設定）を選び、決定ボタンを押す。**

プリント設定メニューが表示されます。

ご注意

クリエイティブプリント操作中は、プリント画質以外の設定はできません。（設定できない項目はグレイで表示されます。）

3 **△/▽ボタンで変更したい項目を選び、決定ボタンを押す。**

それぞれの項目の設定画面が表示されます（次ページ）。

4 **△/▽ボタンで設定を選び、決定ボタンを押す。**

設定内容が確定されます。

ちょっと一言

プリント設定を終了するには、メニューボタンを押します。

項目	設定	内容
オートファイン プリント4	写真* / 鮮やか	より鮮明で美しい画質でプリントするために、自動的に画像を補正してプリントする機能です。全体的に暗い画像やコントラストのない画像をプリントする場合に特に有効で、更に肌色や草木の緑、空の青さもより自然に、より鮮やかに補正します。 ● 写真：画像を自動的に補正し、自然で綺麗にプリントします。（推奨） ● 鮮やか: 画像を自動的に補正し、写真モードよりもさらに鮮やかにプリントします。 **ちょっと一言** Exfi2.21規格対応のデジタルカメラで撮影された画像については、画像に記録されたExfi情報に基づいた補正も行われます。 **ご注意** ● 画像データ自体は補正されません。 ● パソコンモードでプリントする場合は、プリンタードライバーでのオートファインプリント4の設定が優先されます。PictBridgeモードでは、プリンター本体の設定が有効になります。
	切	画像を補正せずにそのままプリントします。
プリント仕上げ	フチ有1/ フチ有2	画像の回りに余白を残してプリントします。画像がカットされることなくプリントしたいときは、[フチ有 1]を選びます。上下左右に均一の余白を作りたいときは、[フチ有2] を選びます。 **ご注意** [フチ有2] を選んだ場合、画像によっては上下または左右がカットされてプリントされることがあります。
	フチ無*	画像の回りに余白を残さずプリントします。 **ご注意** デジタルカメラなどで撮影した一般的な4:3の画像をプリントすると、上下がカットされ、3:2の画像でプリントされます。 フチ有1 フチ有2 フチ無

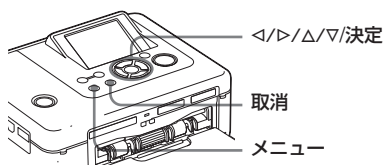
*: 工場出荷時の設定

項目	設定	内容
日付プリント	入	画像がDCF（Design rule for Camera File system）にそって撮影されているファイルの場合、撮影情報として記録されている撮影日を入れて、プリントします。 本機で画像を加工、編集した場合、保存時に表示される日付設定画面で入力した日付がプリントされます。
	切*	画像に日付を入れずにプリントします。
プリント画質		プリントの色あい、シャープネスを調整します。◁/▷ボタンで［R］（赤）、［G］（緑）、［B］（青）それぞれの色要素、［S］（シャープネス）を選び、△/▽ボタンで数値を大きくまたは小さく設定します。RGBは+4〜−4、Sは+7〜0の間で調整できます。 R：赤と水色の成分を調整します。値を大きくすると、赤い光を軽くあてたように赤味が増します。値を小さくすると、暗くなり赤味が落ちます。また同時に水色を加えたようになります。 G：緑と赤紫の成分を調整します。値を大きくすると、緑の光を軽くあてたように緑味が増します。値を小さくすると、暗くなり緑味が落ちます。また同時に赤紫色を加えたようになります。 B：青と黄色の成分を調整します。値を大きくすると、青い光を軽くあてたように青味が増します。値を小さくすると、暗くなり青味が落ちます。また同時に黄色を加えたようになります。 S：画像の輪郭を調整します。値を大きくすると輪郭が鮮明になります。 （*R:0/G:0/B:0/S:0）

*: 工場出荷時の設定

表示/プリンター本体を設定する

画面の表示方法や、プリンター本体の動作の設定を変更します。

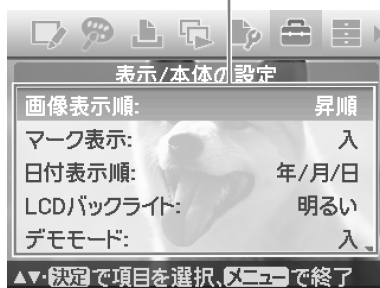
表示/本体の設定メニューで使うボタン

1 メニューボタンを押す。

メニューが表示されます。

メニューを消して元の画面に戻るには

再度メニューボタンを押します。

2 ◁/▷ボタンで、(表示/本体の設定)を選び、決定ボタンを押す。

表示/本体の設定メニューが表示されます。

3 △/▽ボタンで変更したい項目を選び、決定ボタンを押す。

それぞれの項目の設定画面が表示されます（次ページ）。

ご注意

画像編集またはクリエイティブプリント操作中は、設定できない項目があります。設定できない項目はグレイで表示され、選択できません。

4 △/▽ボタンで設定を選び、決定ボタンを押す。

設定内容が確定されます。

ちょっと一言

プリント設定を終了するには、メニューボタンを押します。

次のページにつづく

項目	設定	内容
画像表示順	昇順*	画像一覧画面で画像番号の小さい画像から順に表示します。
	降順	画像一覧画面で画像番号の大きい画像から順に表示します。
マーク表示	入	画像一覧画面で、サムネイル（見出し用小画像)のない画像を、マーク（アイコン）で表示します。
	切*	画像一覧画面で、サムネイル（見出し用小画像）データがない画像を、本画像で表示します。
日付表示順	日付（年、月、日）の表示順を次のいずれかから設定します。 ● 年／月／日* ● 月／日／年 ● 日／月／年	
LCDバックライト	LCD（液晶画面）のバックライトの明るさを次のいずれかから設定します。 明るい*／暗い	
デモモード	入*	いずれのメモリーカードも接続、挿入されていない状態で操作せずに5秒経つと本機の機能を紹介するデモアニメーションが自動的に始まります（デモモード)。いずれかのボタンを押すとデモアニメーションは止まります。
	切	デモモードは働きません。
単位	クリエイティブプリントの証明写真を選んだ場合、写真サイズの指定画面で使用する単位を次のいずれかから設定します。 センチ*／インチ	
本体情報表示	バージョン番号と総プリント枚数が表示されます。	
言語	液晶画面に表示される言語を設定します。 日本語*／英語／フランス語／スペイン語／ドイツ語／イタリア語／ロシア語／韓国語／中国語（簡体字）／中国語（繁体字）／オランダ語／ポルトガル語／アラビア語／ペルシャ語	

*: 工場出荷時の設定

PictBridgeカメラからプリントする

本機とPictBridge対応のデジタルカメラを接続し、デジタルカメラ側で操作しながらプリントできます。
PictBridgeからプリントする場合は、あらかじめメモリーカードをはずしてください。

1 PictBridge対応のデジタルカメラを、PictBridge対応プリンターとの接続モードに設定する。

接続前に必要な設定や操作方法は、デジタルカメラによって異なります。デジタルカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。（PictBridge対応Cyber-shotをご使用の場合は、USB接続を「PictBridge」に設定します。）

2 本機の電源をつなぐ。（「はじめにお読みください」参照）

3 本機の⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。

ランプが黄緑に点灯します。

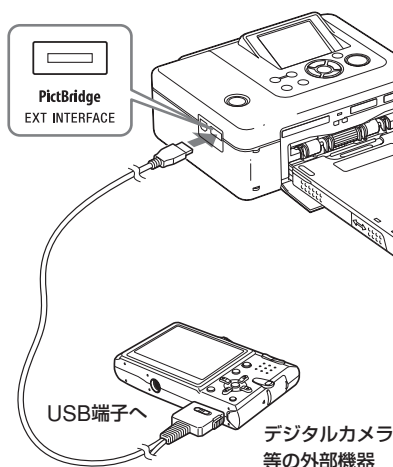
4 PictBridge対応のデジタルカメラを本機をにつなぐ。

PictBridge対応のデジタルカメラを本機のPictBridge/EXT INTERFACE端子に接続すると、本機の液晶画面に「接続中」と表示されます。

5 デジタルカメラ側から操作してプリントを行う。

本機では、以下のプリントモードに対応しています。

- 一枚画像のプリント
- 全画像プリント
- インデックスプリント
- DPOFプリント
- フチ有／無プリント
- 日付プリント

プリント中のご注意については「はじめにお読みください」も併せてご覧ください。

ご注意

- PictBridge対応のデジタルカメラと接続している間にインクリボンを入れ換えた場合は、正常にプリントされないことがあります。もう一度接続しなおしてください。
- PictBridge/EXT INTERFACEに接続した場合も、本機のプリント設定メニューにしたがってプリントされます。ただし、デジタルカメラでフチ有/無、日付を設定した場合はデジタルカメラの設定が優先されます。本機の設定が「フチ無」で、デジタルカメラの設定が「フチ有」の場合は、「フチ有1」で印刷されます。
- USBハブやUSBハブを内蔵したデジタルカメラはご使用になれません。
- デジタルカメラのエラーメッセージについてはお使いのデジタルカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

外部機器からプリントする

本機とマスストレージ対応のデジタルカメラ、USBメモリー、フォトストレージを接続し、画像をプリントできます。

ご注意

- すべての外部機器との接続を保証するものではありません。
- 本機にメモリーカードが挿入されていると、PictBridge/EXT INTERFACE端子に接続した機器の画像が読み取れません。本機にメモリーカードが挿入されている場合は、抜いてください。

1 デジタルカメラや外部機器の設定をマスストレージ接続モードにする。

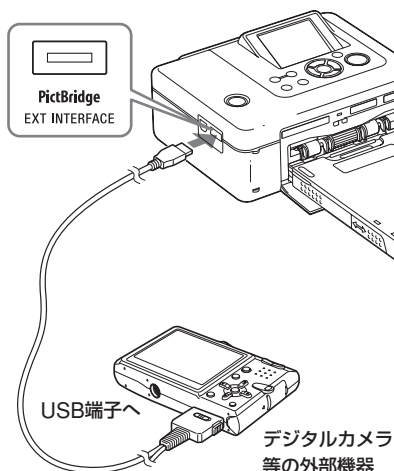
接続前に必要な設定や操作方法は、デジタルカメラや外部機器によって異なります。デジタルカメラや外部機器に付属の取扱説明書をご覧ください。（Cyber-shotをご使用の場合は、USB接続を「標準」または、「Mass Storage」に設定します。）

2 本機の電源をつなぐ。（「はじめにお読みください」参照）

3 本機の⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。

ランプが黄緑に点灯します。

4 デジタルカメラや外部機器を本機のPictBridge/EXT INTERFACE端子に接続する。

デジタルカメラや外部機器に付属されているUSBケーブルを使って、本機に接続してください。
ダイレクトモードの印刷が可能です。

ご注意

- 市販のUSBケーブルをお使いになる場合は、長さ3m未満のA-TYPEのUSBケーブルをお使いください。
- 外部機器のアクセスランプが点滅中に、USBケーブルを抜いたり、本機および外部機器の電源を切らないでください。外部機器内のデータが破損する場合があります。データの破損、消失については責任は負いかねます。
- USBハブや、USBハブを内蔵したUSB機器はご使用になれません。
- 指紋認証やパスワードなどによって暗号化、圧縮されたデータは、本機ではご使用になれません。
- 以下のソニー製USBメモリは指紋認証あるいはUSBハブが内蔵されているため、ご使用になれません。
  USM16A/S、USM32A/S、USM64A/S、USM128A/S、USM256A/S、USM128B/BMS、USM64C、USM128C、USM128F

ソフトウエアをパソコン（Windows PC）にインストールして、本機とパソコンを接続すると、パソコン内の画像をプリントできます。ここでは、付属のプリンタードライバーとソフトウェアPicture Motion Browserのインストール方法、パソコンと本機との接続方法、Picture Motion Browserを使ったプリント方法について説明します。パソコンの使い方については、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
なお、付属のソフトウェアのインストールは、本機を初めてパソコンに接続するときのみ必要です。

付属のCD-ROMについて
付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアのインストーラーが入っています。

- DPP-FP70/90プリンタードライバー
  DPP-FP70/90について記述したドライバーソフトウェアで、DPP-FP70/90を使ってパソコンからプリントできるようになります。
- Picture Motion Browser（ピクチャーモーション・ブラウザー）
  写真や動画の取り込みから、管理・加工・出力までを一括して行えるソニーオリジナルソフトウェアです。

ソフトウェアをインストールする

必要なシステム構成

付属のプリンタードライバーとソフトウェアPicture Motion Browserをお使いになるには、以下の動作環境を満たしたパソコンが必要です。

OS: Microsoft Windows Vista（*1）/ Windows XP Professional（*2）/ Windows XP Home Edition/ Windows 2000 Professional（Service Pack 3以降）をプリインストール

（*1）Picture Motion Browserは64ビット版には対応していません。
（*2）64ビット版には対応していません。

（Windows 95、Windows 98 Gold Edition、Windows 98 Second Edition、Windows NT、Windows Millennium Edition、Windows 2000のその他のバージョン（SP2以前のもの、Serverなど）では動作保証いたしません。）

CPU:Pentium III 500MHz以上 (Pentium III 800MHz 以上推奨)

RAM:128MB以上 (256MB以上推奨)

ハードディスクの空き容量：
200MB 以上（Windowsのバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。また写真データを扱うための領域がさらに必要です。）

ディスプレイの設定について：
画面の解像度: 800x600 ピクセル以上
画面の色 : High Color (16 ビット) 以上

次のページにつづく

必要なソフトウエア：DirectX9.0c以上
（Picture Motion Browserで必要）

ご注意
- 1台のパソコンに複数のUSB接続（他のプリンターを含めて）をした場合、またはハブを使用している場合は、不具合が発生することがあります。その場合は、接続を簡素化して使用してください。
- 同時に使用するUSB機器から本機を操作することはできません。
- データ通信中やプリント中はUSBケーブルを抜き差ししないでください。プリントが正常にできません。
- 本機はパソコンのスタンバイ、および休止状態には対応していません。印刷中にパソコンをスタンバイモード、および、休止状態に切り換えないでください。印刷に失敗することがあります。
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- Picture Motion Browserは、DirectXテクノロジーに対応しているため、DirectXのインストールが必要になる場合があります。DirectXはCD-ROM内にあります。
- Cyber-shot ViewerがインストールされているパソコンにPicture Motion Browserをインストールすると、Cyber-shot Viewerは上書きされてPicture Motion Browserとなります。このとき、Cyber-shot Viewerで登録された閲覧フォルダはそのままPicture Motion Browserにも登録されます。Picture Motion Browserでは、Cyber-shot Viewerにくらべ、フォルダビュー時にグループ単位での表示が可能になるなど、より閲覧しやすくなっています。また、赤目補正機能の改善やトーンカーブ機能が付加されるなど画像編集機能が充実しました。外部メモリーカードへの書き出し機能も付加され、お気に入りの画像を外に持ち出すことも容易になっております。

プリンタードライバーをインストールする

次の手順でインストールします。

ご注意
- インストール前に、本機をパソコンに接続しないでください。
- Windows Vista/XP/2000をお使いの場合は、コンピュータの管理者権限でログオンしてください。
- セットアップを始める前に他のプログラムはすべて終了させてください。
- ここでは、Windows XPでの画面を使って説明します。OSの種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動し、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。

インストール画面が表示されます。

ご注意
インストール画面が表示されないときは、CD-ROM内のSetup(.exe)をダブルクリックします。

2 ［プリンタードライバーのインストール］をクリックする。

インストーラーが起動します。

3 ［次へ］をクリックする。

「使用許諾契約」画面が表示されます。

4 **内容を良くお読みになり、同意する場合は［使用許諾契約の全条項に同意します］にチェックし、［次へ］をクリックする。**

インストールが始まります。

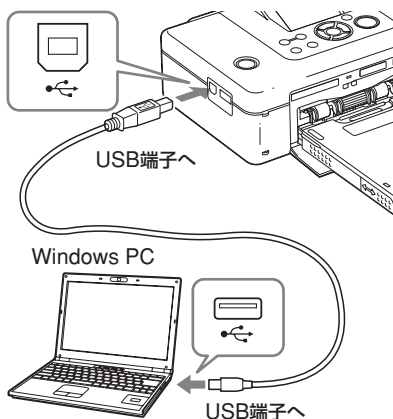
5 **「Sony DPP-FP60/70/90のインストールが完了しました」が表示されたら、[完了]をクリックする。**

6 **本機の電源をつなぐ。（「はじめにお読みください」参照）**

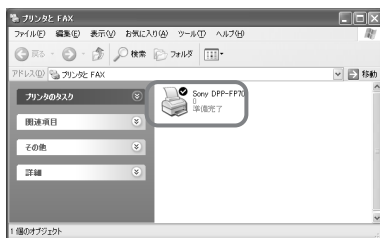
7 **本機の⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。**

ランプが黄緑に点灯します。

8 **パソコンと本機をUSBケーブル（別売）で接続する。**

本機とパソコン（Windows PC）のUSB端子を接続します。

ご注意

USBケーブルは、長さ3m未満のB-TYPEをお使いください。

9 **完了後しばらくしてから、「プリンタとFAX」に「Sony DPP-FP70」または「Sony DPP-FP90」が追加されていることを確認する。**

10 **インストール終了後、CD-ROMをパソコンから取り出し保管する。**

引き続きPicture Motion Browserをインストールする場合は、41ページ手順2以降にしたがって操作する。

ご注意

- インストールがうまくいかない場合は、本機をパソコンからはずして、パソコンを再起動してから、手順2からやり直してください。
- インストール後、「Sony DPP-FP70」または「Sony DPP-FP90」は通常使うプリンターには設定されていません。お使いになるアプリケーションソフトでそれぞれ設定を行ってください。
- 付属のCD-ROMは、再インストールやアンインストールで使用することがありますので、終了したら、CD-ROMドライブから取り出し、大切に保管してください。
- 本機をお使いになる前に、Readmeファイル（CD-ROM内のReadmeフォルダ➔Japaneseフォルダ➔Readme.txt）を良くお読みください。

インストールが終わると
デスクトップ上に以下のアイコンが表示されます。

プリンターカスタマー登録WEBサイトへのショートカット
カスタマー登録していただくと安心・便利な各種サポートが受けられます。
http://www.sony.co.jp/dpp-regi/

Sonyマイページへのショートカット
お持ちの登録製品に合わせたサポート情報をご覧いただけます。
http://www.sony.jp/pr/mypage/d-imaging/index.html

プリンタードライバーを削除する

次の手順でアンインストールを行います。

1. **本機とパソコンのUSBケーブル（別売）をはずす。**
2. **Windowsの［スタート］メニューから［プリンタとFAX］を選ぶ。**
3. **「Sony DPP－FP70」または「Sony DPP-FP90」を選択して、［ファイル］メニューから［削除］を選択する。**
   削除確認ダイアログボックスが表示されます。
4. **［はい］をクリックする。**
5. **プリンタフォルダから「Sony DPP－FP70」または「Sony DPP-FP90」が削除されたことを確認する。**
6. **［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］を選択し、表示される「プリントサーバーのプロパティ」ダイアログから［ドライバ］タブをクリックする。**
7. **「Sony DPP－FP70」または「Sony DPP-FP90」を選択して、[削除]をクリックする。**
   削除確認ダイアログボックスが表示されます。
   Windows Vistaでは、削除できない場合がありますが、そのままお使いいただけます。
8. **［はい］をクリックする。**
9. **［閉じる］をクリックして「サーバーのプロパティ」ダイアログを閉じる。**
10. **Windowsの［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選ぶ。**
    コントロールパネルが開きます。
11. **［プログラムの追加と削除］を開く。**
12. **「Windows ドライバーパッケージ-Sony DPP-FP60/70/90」を選択し、［変更と削除］をクリックする。**
    削除確認ダイアログボックスが表示されます。
13. **［はい］をクリックする。**

Picture Motion Browserをインストールする

次の手順でインストールします。

ご注意

- Windows Vista/XP/2000をお使いの場合は、コンピュータの管理者権限でログオンしてください。
- セットアップを始める前に他のプログラムはすべて終了させてください。
- ここでは、Windows XPでの画面を使って説明します。OSの種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。

1 **パソコンの電源を入れ、Windowsを起動し、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。**

インストール画面が表示されます。

2 **［Picture Motion Browserのインストール］をクリックする。**

「設定言語の選択」ダイアログボックスが表示されます。

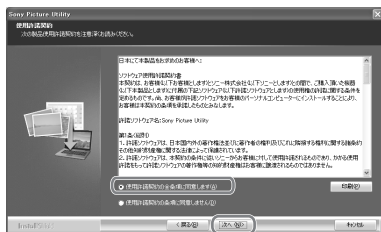
3 **［日本語］を選択し、［次へ］をクリックする。**

4 **「エリア」リストボックスから「Asia/アジア」、「国/地域」リストボックスから［Japan/日本］を選択し、［次へ］をクリックする。**

InstallShield Wizardダイアログボックスが表示されます。

5 **［次へ］をクリックする。**

「使用許諾契約」ダイアログボックスが表示されます。

6 **内容を良くお読みになり、同意する場合は[使用許諾契約の全条項に同意します。]にチェックし、[次へ]をクリックする。**

7 **インストール先を確認し、[次へ]をクリックする。**

プログラムのインストール準備完了ダイアログが表示されます。

8 **［インストール］をクリックし、画面の指示に従ってインストールする。**

パソコンの再起動を要求する画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動を行なってください。

9 **インストール後付属のCD-ROMをパソコンから取り出し保管する。**

ご注意

- インストールがうまくいかない場合は、手順2からやり直してください。
- 付属のCD-ROMは、再インストールやアンインストールで使用することがありますので、終了したら、CD-ROMドライブから取り出し、大切に保管してください。

Picture Motion Browserを削除する

Picture Motion Browserが不要になった場合は、次の手順で、アンインストールを行い、ハードディスクから関連するファイルを削除します。

1 **Windowsの［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選ぶ。**

コントロールパネルが表示されます。

2 **［プログラムの追加と削除］を開く。**

3 **「Sony Picture Utility」を選択し、［削除］をクリックする。**

アンインストールが実行されます。

Picture Motion Browserから写真をプリントする

Picture Motion Browserを使って、パソコンからPサイズまたはＬサイズのプリントペーパーにプリントできます。

1 Picture Motion Browserを起動する。

以下のいずれかの方法で起動します。

- デスクトップ画面上の（Picture Motion Browser）をダブルクリックする。
- Windowsの［スタート］メニューから[すべてのプログラム]（Windows 2000では［プログラム］）–[Sony Picture Utility]–[Picture Motion Browser］の順にクリックする。

初めて起動したときは閲覧フォルダの登録画面が表示されます。

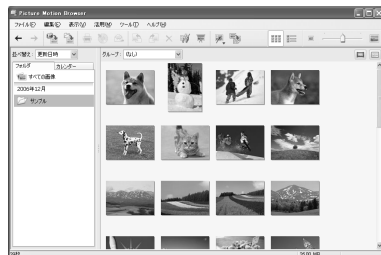
すでに「マイ ピクチャ」に画像が保存されている場合は、［今すぐ登録］をクリックします。

「マイ ピクチャ」以外のフォルダに画像が保存されている場合は、［後で登録］をクリックします。登録方法については、「閲覧フォルダを登録するには」（46ページ）をご覧ください。

「マイ ピクチャ」にアクセスするには

- Windows 2000の場合；
デスクトップ画面上の［マイ ドキュメント］–[My Pictures］の順にクリックします。
- Windows Vista/XPの場合：
［スタート］–［マイ ピクチャ］の順にクリックします。

2 ［実行開始］をクリックする。

「Picture Motion Browser」のメイン画面が表示されます。

メイン画面の表示を切り換えるには

メイン画面には、以下の2通りのビュー（表示方法）があります。表示を切り換えるには、左のフレームの［フォルダ］または［カレンダー］切り換えタブをクリックします。

- **フォルダビュー**
登録したフォルダごとに画像を分類し、サムネイルを表示します。
- **カレンダービュー**
カレンダー形式で撮影した日付ごとに画像を分類し、サムネイルを表示します。1年単位、1ヶ月単位、または1時間単位の表示に切り換えることができます。

本書では、「フォルダビュー」を使用したときの印刷方法を説明します。

3 プリントしたい静止画の入っているフォルダをクリックする。

ここでは「サンプル」フォルダを使って説明します。

4 プリントしたい静止画を選択し、［ ］（印刷）をクリックする。

［印刷］画面が表示されます。

5 **［プリンタ］ドロップダウンリストから［Sony DPP-FP70］または［Sony DPP-FP90］を選ぶ。印刷の向きやその他の詳細設定を行う場合は手順6へ、すぐに印刷を行う場合は手順11へ進む。**

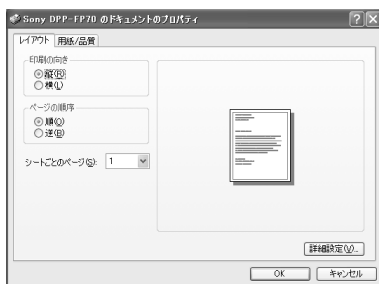
項目	設定内容
プリンタ	［DPP-FP70］または［DPP-FP90］のうち、お使いのプリンターを選択してください。
用紙サイズ	変更するには、［プロパティ］をクリックします。
印刷オプション	● 画像の一部をカットして印刷領域いっぱいに印刷: チェックを付けると、プリンターの印刷領域いっぱいに印刷します。そのため、画像の一部が切れることがあります。 チェックをはずすと、画像をカットすることなく印刷します。 ● 日付印刷：チェックを付けると、DCF準拠の画像の場合、撮影日が印刷されます。
プロパティ	用紙サイズやプリント方向、画質設定など詳細の設定を行います。

6 **印刷の向きやその他の詳細設定を行うには、［プロパティ］をクリックする。**

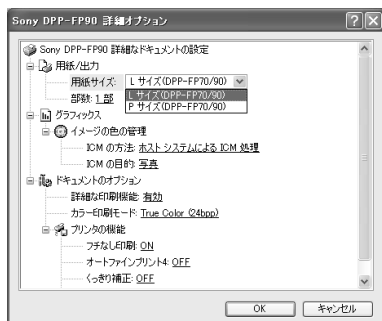
選択したプリンターのプロパティ画面が表示されます。

なお、本機のプリンタードライバーは、マイクロソフト社の共通プリンタードライバーであるUniversal Printer Driver を利用しています。ダイアログボックスに表示される設定項目の中には、本機ではお使いにならない項目もあります。

7 **［レイアウト］タブで、用紙サイズなどを設定する。**

次のページにつづく

項目	設定内容
印刷の向き	画像に合わせて印刷の向きを選びます。 • 縦 • 横
ページの順序	印刷をページ順に行うか、または逆に行うかを設定します。通常は、「順」を選択してください。
シートごとのページ	1ページに印刷するページ数を設定します。通常は、「1」を選択してください。
詳細設定	用紙サイズや他の項目を変更します。

8 ［詳細設定］ボタンをクリックする。

「Sony DPP-FP70/90詳細オプション」画面が表示されます。

項目	設定内容
用紙/出力	● 用紙サイズ：お使いになるプリントペーパーのサイズを選びます。Pサイズ、またはLサイズを選びます。 ● 部数：印刷部数を設定します。
グラフィックスーイメージの色の管理	● ICMの方法：本機はICMの設定に対応しておりません。「ICM 無効」以外に設定しても印画結果には反映されません。 そのままの設定でお使いください。 ● ICMの目的：本機ではICMの設定は有効になりません。そのままの設定でお使いください。
ドキュメントのオプション	● 詳細設定：「有効」に設定すると、「シート毎のページ数」などの詳細な印刷オプションがオンになります。互換性に関する問題が生じた場合は、「無効」に設定してください。 ● カラー印刷モード：カラーで印刷する場合は、「True Color (24bpp)」、白黒で印刷する場合は、「モノクロ」を選択してください。 詳しくはWindowsヘルプをご覧ください。

項目	設定内容
プリンタの機能	
	● フチなし印刷：フチなし印刷を行う場合は「ON」、フチあり印刷を行う場合は「OFF」を選択してください。い。アプリケーションによっては、「ON」に設定してもフチなしにならない場合があります。印刷範囲いっぱいに印刷するように設定して印刷してください。 ● オートファインプリント4：「写真」、「鮮やか」、「OFF」から選択してください。「写真」、「鮮やか」に設定する場合は、「ICMの方法」は「ICM 無効」に設定してください。メモリーカードからのダイレクト印刷とは処理が異なり、Exif情報の参照はありません。詳細は、31ページをご覧ください。
	● くっきり補正：「ON」、「OFF」から選択してください。「ON」に設定する場合は、「ICMの方法」は「ICM 無効」に設定してください。メモリーカードからのダイレクト印刷とは、処理が異なりEixif 情報の参照はありません。詳細は、10ページをご覧ください。 ● プリント画質：R,G,B, シャープネスの設定値を変更できます。詳細は、31ページをご覧ください。

9 **［用紙/品質］タブで、給紙方法や色（カラー/白黒）などを設定する。**

項目	設定内容
トレイの選択	
	「給紙方法」から、「自動選択」を選んでください。
色	カラーで印刷する場合は「カラー」、白黒で印刷する場合は「白黒」に設定してください。
詳細設定	
	用紙サイズや他の項目を変更します。詳細は、手順8をご覧ください。

10 **[OK]をクリックする。**

「印刷」画面が再び表示されます。

11 **［印刷］をクリックする。**

印刷が開始されます。

Picture Motion Browserの詳細設定については、Picture Motion Browserのヘルプをご覧ください。

ご注意

動画、RAWデータの印刷はできません。

次のページにつづく

ちょっと一言

- メイン画面の画像表示エリアで連続している静止画を選ぶには、最初の静止画をクリックし、Shiftキーを押しながら最後の静止画をクリックします。 連続していない複数の静止画を選ぶには、Ctrlキーを押しながらクリックします。
- 一枚表示画面から印刷することもできます。

Windowsのヘルプを表示するには

右上の[?]マークをクリックし、参照したい項目をクリックします。

印刷を中止するには

1 **タスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックして、プリンタダイアログボックスを開く。**

2 **キャンセルしたいドキュメント名をクリックし、メニューの［ドキュメント］－［キャンセル］を選択する。**

削除確認ダイアログボックスが表示されます。

3 **[はい]をクリックする。**

印刷ジョブが取り消されます。

ご注意

印刷中のジョブは削除しないでください。
紙づまりの原因になることがあります。

閲覧フォルダを登録するには

Picture Motion Browserでは、パソコン内の画像を直接見ることはできません。必ず登録が必要になります。登録は、以下の手順で行います。

1 **「ファイル」―「閲覧フォルダの登録」または、[ ]をクリックする。**

閲覧フォルダの登録画面が表示されます。

2 **フォルダツリーから登録したいフォルダを選択して［登録］ボタンをクリックする。**

ご注意

ドライブ全体を登録することはできません。

登録の確認画面が表示されます。

3 **［はい］をクリックする。**

画像情報のデータベースへの登録が始まります。

4 **［閉じる］をクリックする。**

ご注意

- 画像の取り込み先に選んだフォルダは自動的に登録されます。
- ここで登録されたフォルダを解除することはできません。

閲覧フォルダを変更するには

「ツール」-「設定」-「閲覧フォルダ」を選び、変更します。

ちょっと一言

- 取り込み元のフォルダ内にサブフォルダがある場合、サブフォルダ内の画像も登録されます。
- 本ソフトウェアを初めて起動する場合、[マイピクチャ]の登録を促すメッセージが表示されます。
- 画像情報の登録は、画像の枚数によっては数十分かかることがあります。

市販のアプリケーションソフトからプリントする

「印刷」画面の［プリンタ］の項目で［DPP-FP70］または［ DPP-FP90］を選択し、ページ設定で用紙の選択などの設定を行うことによって、市販のアプリケーションソフトからもプリントできます。

ページ設定画面の詳細については、「Picture Motion Browserから写真をプリントする」の手順6、7をご覧ください。

［プリンタの機能］の［フチなし］の設定について

Picture Motion Browser以外のアプリケーションソフトでは、「Sony DPP-FP70/90の詳細オプション」の［プリンタの機能］を［フチなし印刷］に設定しても、フチ有でプリントされてしまうことがあります。

この項目を有効に設定した場合、アプリケーションソフト側に、フチ無で印刷できる範囲の情報が提供されますが、アプリケーションソフトによっては、その範囲でふちがつくようにレイアウトして印刷するものがあるためです。

この場合は、以下の方法で印刷してください。

- 設定があるアプリケーションソフトでは、画像が印刷範囲をはみ出しても印刷範囲いっぱいに印刷するように設定します。
  たとえば、WindowsXPの「画像とFAXビューア」の印刷ウィザードの設定では、［フルページ写真プリント］を選択します。

印刷前にプレビュー画像を表示して確認してください。

印刷の向きの設定について

お使いのアプリケーションソフトによっては、縦、横の設定を変更しても、同じプリント結果になる場合があります。

フチ有、フチ無の設定について

お使いのアプリケーションソフトにフチ有、フチ無の設定がある場合、プリンタードライバーの詳細オプション–プリンタの機能で「フチなし：ON」に設定することをお勧めします。

印刷枚数の設定について

使用するアプリケーションソフトによってはアプリケーションソフトで設定した値が優先されます。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

電源

症状	チェック項目	対処方法
電源が入らない。	● 電源プラグが正しく差し込んでありますか?	→正しく接続してください。（➡ 別冊「はじめにお読みください」）

画像を表示する

「プリンターの電源は入っているが印刷が始まらない。」または、「操作画面の設定ができない。」
こんな時は以下のチェック項目を確認してください。

症状	チェック項目	対処方法
画面に画像が表示されない。	● 画面に「接続中」と表示されていませんか?	→ PictBridgeカメラまたはパソコンが接続され、それぞれの動作モードになっている場合は、画面には画像は表示されません。PictBridgeカメラまたはパソコンで操作してください。 メモリーカードまたは外部機器の画像を見る場合には、PictBrdgeカメラまたはパソコンをはずしてください。
	● 画面に何らかのメッセージ（エラーの内容と対処法）が表示されていませんか?	→ 表示されている場合は、メッセージに従ってトラブルを解決してください。（➡ 59ページ）
	● メモリーカードや外部機器は正しく接続されていますか?	→ 正しく接続してください。（➡ 別冊「はじめにお読みください」）
	● メモリーカードにはデジタルカメラなどで保存した画像が入っていますか? また、外部機器には画像が保存されていますか?	→ 画像の入っているメモリーカードまたは外部機器を接続してください。 → プリント可能なファイルフォーマットを確認してください。（➡ 69ページ）
	● ファイルフォーマットはDCFに準拠していますか？	→ DCFに準拠していないファイルはパソコンで表示できても、本機では表示、プリントできない場合があります。

症状	チェック項目	対処方法
一部の画像が表示されない。表示されているのにプリントできない。	● 画像一覧（インデックス）画面で画像が表示されていますか?	➔ 画像が表示されているのにプリントできない場合は、プリントするための画像ファイルが壊れています。 ➔ メモリーカードまたは外部機器内に再生できる画像が記録されていない場合は、画面に「画像ファイルがありません」と表示されます。 ➔ DCFに準拠していないファイルはパソコンで表示できても、本機ではプリントできない場合があります。
	● 画像一覧画面で、下のマークが表示されていますか? ● パソコンのアプリケーションで作成した画像ではありませんか?	➔ 左のマークが表示されている場合は、パソコンで作成したJPEGファイルなど、本機が対応していない画像ファイルか、対応している画像ファイルでも、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データ部分がない画像ファイルです。このマークを選択し、決定ボタンを押して一画像表示にし、画像が表示されれば、プリントは可能です。一画像表示にしても、左のマークが表示される場合は本機で対応できない画像ファイルのため、プリントはできません。
	● 画像一覧画面で、下のマークが表示されていますか?	➔ 左のマークが表示されている場合は、本機が対応している画像ファイルですが、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データが開けないか、または本画像が開けません。このマークを選択し、決定ボタンを押して一画像表示にし、画像が表示されれば、プリントは可能です。一画像表示にしても、左のマークが表示される場合はプリントはできません。
	● メモリーカードまたは外部機器内の画像枚数が9,999枚を超えていませんか?	➔ 本機で再生、プリント、記録、削除など、扱える画像ファイル数は最大で9,999枚です。メモリーカードまたは外部機器内に9,999枚を超える画像ファイルが保存されている場合は、PCモードまたはPictBridgeモードをお使いください。
	● パソコンなどでファイル名を変更しましたか?	➔ パソコンでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機で画像が表示できない（リードエラーになる）場合があります。
	● 画像一覧画面で、プリント枚数は設定されていますか?	➔ 画像を選択した場合、カーソルがあっても、プリント枚数が設定されていないとプリントされません。決定ボタンを押して、プリント枚数を設定してください。（➔ 別冊「はじめにお読みください」）
	● メモリーカードまたは外部機器内の8階層以上のフォルダがありませんか?	➔ 8階層以上のフォルダ内にある画像データは、本機では表示できません。

次のページにつづく

症状	チェック項目	対処方法
ファイル名が正しく表示されない。	● パソコンなどでファイル名を変更しましたか?	→ パソコンでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機でファイル名が正しく表示されない場合があります。また、パソコンなどで作成したファイルは、ファイル名の最初の8文字が表示されます。
画像編集でプレビュー画面に上下の余白ができる。	● 極端に縦長または横長の画像ではありませんか?	→ 極端に縦長または横長の画像は、画像編集の際、比率の関係で上下に余白が生じることがあります。 → デジタルカメラで撮影した画像の縦横比は一般的に3：4ですが、PサイズやLサイズで編集、保存した場合、画像はそれぞれの用紙サイズに合わせて3：4よりも横長のプリントイメージとして保存されるため、上下が一部カットされます。そのため、一覧表示ではカットされた上下部分が黒く表示されます。

プリントする

プリントペーパーをペーパートレイに入れて印刷を実行すると、給紙されない、複数枚重なって給紙される、斜めに給紙される、こんな時は以下のチェック項目を確認してください。

症状	チェック項目	対処方法
給紙されない。	● プリントペーパーはペーパートレイに正しく入っていますか?	→ プリントペーパーが正しく入っていないと、故障の原因になります。以下の項目についてチェックしてください。（━━ 別冊「はじめにお読みください」） ● 正しい組合せのプリントペーパーとインクリボンを入れてください。 ● プリントペーパーは正しい向きで入れてください。 ● トレイにはプリントペーパーは一度に20枚までしか入りません。20枚以上の場合は取り除き20枚までにしてください。 ● Lサイズのプリントペーパーをお使いの場合、Lサイズのアダプターを正しくセットしてください。 ● プリントペーパーを良くさばいて、トレイに入れてください。 ● プリントする前にプリントペーパーを折ったり曲げたりした場合は、故障の原因になるので使用しないでください。
	● インクリボン、プリントペーパーは終了していませんか？	→ 液晶画面にエラーメッセージが表示されている場合は、エラーメッセージ一覧（━━ 61ページ）をご確認ください。

症状	チェック項目	対処方法
給紙されない。	● 本機で使用できないプリントペーパーをお使いではありませんか?	→ 指定されたプリントペーパーをお使いください。指定外のプリントペーパーを使用すると、故障の原因になります。(→ 別冊「はじめにお読みください」)
	● プリントペーパーがつまっていませんか?	→ プリントペーパーが給紙されない時はエラーメッセージが表示されます。プリントペーパーがつまっていないか確認してください。(→62ページ)
プリント中にプリントペーパーの端が出てくる。	● プリントの途中ではありませんか?	→ プリントの途中、プリントペーパーの端が一時的に何度か出てきます。アクセスランプが消え、プリントペーパーが自動的に排出されるまで引っ張り出さないでください。また、背面からも紙が何度か出てくる為、本機背面のスペースは10cm以上とるようにしてください。

プリント結果

症状	チェック項目	対処方法
プリント画質が悪い。	● プレビュー画像データをプリントしていませんか?	→ ご使用のデジタルカメラの種類によっては、画像の一覧表示で本画像データの他にプレビュー画像データなどが表示される場合があります。このプレビュー画像データなどをプリントした場合、プリント画質は本画像データをプリントしたときに比べ低下します。また、画像を削除する場合は、プレビュー画像データを削除すると本画像データが開けなくなる場合がありますので、データ内容について確認してください。
	● 画像サイズの縦または横が480ドット以下の画像をプリントしていませんか? 画像一覧画面で下のように表示されていませんか?	→ 画像一覧画面で左のように表示されている画像は、画像サイズが小さいため、プリントは粗くなります。 → お使いのデジタルカメラの画像サイズの設定を変更してください。
	● 画像編集で画像を拡大していませんか?	→ 拡大した場合は、画像サイズによっては画質が低下することがあります。
	● プリント面に埃や指紋などが付着していませんか?	→ プリントペーパーの取扱い時、プリント面(何も印刷されていないつやのある面)には触れないようにしてください。プリント面に埃や指紋などが付着すると、きれいにプリントできないことがあります。

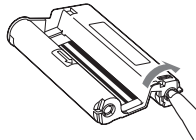
次のページにつづく

症状	チェック項目	対処方法
プリント画質が悪い。	● 一度使用したプリントペーパーやインクリボンを使用していませんか?	→ 一度使用したプリントペーパーまたは、インクリボンでプリントしないでください。同じ画像を重ねてプリントしても、濃くならないばかりか、故障の原因になります。
	● RAWモードで撮影しませんでしたか?	→ RAWモードで撮影した場合は、同時に圧縮率の高いJPEGファイルが記録されている可能性があります。本機は、RAWファイルに対応していないため、JPEGファイルの方を印刷してしまいます。RAWファイルは、一般的には、パソコンを使用すれば印刷可能です。RAWファイルをパソコンを使用して印刷する方法は、ご使用のデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。 RAWファイルとは? 撮影したデータを圧縮せずに独自のフォーマットで保存したものです。RAWファイルで保存可能かどうかは、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
	● DCF2.0に対応していないAdobeRGB対応のデジタルカメラを使って、AdobeRGBモードで撮影しませんでしたか?	→ DCF2.0に準拠しているAdobeRGBの画像ファイルは、色補正を行いますが、DCF2.0に準拠していないAdobeRGBのファイルを印刷した場合は、色が薄く印刷されます。 AdobeRGBとは? Adobe社が採用し、Photoshopなどの画像編集ソフトウエアにデフォルト設定している色空間です。また、DCF2.0で拡張されたオプション色空間で、印刷業界で多く使用されている色域を定義した色空間です。AdobeRGBに対応しているかどうかは、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
画面に表示される画像と実際にプリントされる画像の画質または色が異なっている。		→ 発色方法の違いや液晶画面個々の特性の違いによるもので、画面に表示される画像はあくまで目安とお考えください。なお、画質の調整は次の設定で行うことができます。 ● ［メニュー］－［プリント設定］－［プリント画質］(32ページ) ● ［メニュー］－［画像編集］－［画質調整］(設定は、表示されている画像のみ反映されます。)(14ページ)

症状	チェック項目	対処方法
メモリーカードや外部機器からダイレクトにプリントした場合と、パソコン経由でプリントした場合とでは、プリントイメージが異なる。		➔ 本機内部での処理とパソコンのソフトウェアでの処理の違いもあり、まったく同じにはなりません。
日付けがプリントされない。	● ［日付プリント］設定が「入」になっていますか?	➔「切」の場合、［メニュー］－［プリント設定］－［日付プリント］の設定を「入」に切り換えてください。（➡32ページ）
	● DCFに準拠した画像ファイルですか?	➔ 本機の［日付プリント］は、DCFに準拠した画像ファイルのみをサポートしています。
日付けがプリントされてしまう。	● ［日付プリント］設定が「切」になっていますか?	➔「入」の場合、［メニュー］－［プリント設定］－［日付プリント］の設定を「切」に切り換えてください。（➡32ページ）
	● デジタルカメラでの撮影時に、日付けも一緒に画像に入っていませんか?	➔カメラの設定を変更してください。
印画範囲いっぱいに印画されない。余白が残る。	● ［プリント仕上げ］設定が［フチ有1］または［フチ有2］になっていませんか?	➔［メニュー］－［プリント設定］－［プリント仕上げ］の設定を「フチ無」に切り換えてください。（➡31ページ）
	● 画像の縦横比は、合っていますか?	➔ご使用のデジタルカメラの種類によっては、記録される画像の縦横比が異なるため、本機の印画範囲いっぱいにプリントされない場合があります。
［フチ無］プリントに設定しているのにプリントしたら左右に余白が残った。	● ［プリント仕上げ］設定が［フチ有1］または［フチ有2］で編集保存した画像ではありませんか?	➔［フチ有1］または［フチ有2］で編集、保存した場合、画像だけでなく余白部分を含めた全体がプリントイメージとして保存されます。そのため、これらの画像を［フチ無］でプリントしても、左右に余白が残ります。［フチ無］プリントをする場合は、プリントするペーパーサイズの［フチ無］で編集、保存を行ってください。（➡ 31ページ）
画像全体をプリントできない。	● ［プリント仕上げ］設定が［フチ有1］になっていますか?	➔［フチ有1］に設定すると画像全体がプリントされます。（➡ 31ページ）
縦長にプリントされてしまう。	● デジタルカメラで回転などの加工をしましたか?	➔ 撮影した画像に、デジタルカメラで回転などの加工をした場合、カメラの種類によっては縦長にプリントされる場合がありますが、カメラで画像を書き換えたためで本機の故障ではありません。

次のページにつづく

症状	チェック項目	対処方法
斜めにプリントされてしまう。	● ペーパートレイが斜めに装着されていませんか？	➔ ペーパートレイを再度固定するまでしっかりとまっすぐに差し込んでください。
白いスジやキズが入る。		➔ 付属のクリーニングカートリッジでプリントヘッドなど本機内部のクリーニングをしてみてください。（➡ 63ページ）
画像が暗い、明るい、赤すぎる、黄色すぎる、緑色すぎる。		➔ ［メニュー］－［画像編集］－［画質調整］で修正してください。（➡ 14ページ）
被写体の目が赤く写っている。		➔ くっきり補正ボタンを押して、修正してください。（➡ 10ページ）
くっきり補正ボタンで赤目の補正ができない。		➔ ［メニュー］－［画像編集］－［赤目の補正］で修正してください。（➡ 16ページ）
手動（[メニュー] -［画像編集］-［赤目の補正］）で赤目の補正ができない		➔ 補正枠を瞳の大きさの2~7倍に設定し再度補正してください。（➡ 16ページ）
	● ［赤目の補正］の後に、拡大･縮小、回転･移動の編集操作を行いませんでしたか?	➔ ［赤目の補正］の後に、拡大･縮小、回転･移動を行うと正しく補正されないことがあります。拡大･縮小、回転･移動の後に［赤目の補正］を行うようにしてください。

設定する

症状	チェック項目	対処方法
フチ有/無設定ができない。	● クリエイティブプリント機能をお使いですか?	➔ テンプレートを使用しているため、フチ有/無の選択はできません。

画像を保存、削除する

症状	チェック項目	対処方法
保存できない。	● メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか?	➔ 書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。
	● "メモリースティック"の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていませんか?	➔ 誤消去防止スイッチを解除してください。（➡67ページ）
	● メモリーカードが一杯になっていませんか?	➔ 不要な画像を削除してください。（➡28ページ）または、充分なメモリー残量のあるメモリーカードに交換してください。

症状	チェック項目	対処方法
削除できない。	● メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか?	→ お手持ちの機器で書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。
	● 画像がプリント予約（DPOF設定）されていませんか?	→ デジタルカメラなどでDPOF設定を解除してください。
	● "メモリースティック"の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていませんか?	→ 誤消去防止スイッチを解除してください。（→67ページ）
	● "メモリースティック-ROM"ですか?	→ "メモリースティック-ROM"については、画像の削除と初期化はできません。
誤って消してしまった。		→ 一度削除したファイルは元に戻せません。
"メモリースティック"を初期化できない。	● "メモリースティック"の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていませんか?	→ 誤消去防止スイッチを解除してください。（→67ページ）
	● "メモリースティック-ROM"ですか?	→ "メモリースティック-ROM"については、画像の削除と初期化はできません。
"メモリースティック"を誤って初期化してしまった。		→ 初期化すると"メモリースティック"内の画像はすべて削除され、元に戻せません。"メモリースティック"の誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると誤初期化を防げます。（→67ページ）

その他

症状	チェック項目	対処方法
インクリボンが上手く入らない。		→ いったんインクリボンを取り出してから、入れなおしてください。リボンがたるんでうまく入らない場合のみ、インクリボンの芯を矢印の方向に回してリボンのたるみを取ってください。（→ 別冊「はじめにお読みください」）
インクリボンが取り出せない。		→ 本機の電源を入れ直してください。回転が止まったらインクリボンを取り出せます。それでも取り出せないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

困ったときは

次のページにつづく

症状	チェック項目	対処方法
用紙がつまった。	● 画面にエラーメッセージが表示されていませんか?	➔ 用紙がつまっています。62ページの「プリントペーパーがつまったら」の手順に従ってプリントペーパーを取り除いてください。取り除けない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。
プリントが途中で止まってしまった。	● アクセスランプがオレンジ色に点滅している。	➔ データ容量が大きく、処理に時間がかかっています。データ処理が終わり次第プリントを開始します。
	● 画面にエラーメッセージが表示されていませんか?	➔ 用紙がつまっています。62ページの「プリントペーパーがつまったら」の手順に従ってプリントペーパーを取り除いてください。取り除けない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。
	● いずれのランプも点滅、点灯していない。	➔ いずれのランプも点滅、点灯していない場合：長時間のプリントでプリントヘッドが加熱するのを保護するために、一時的にプリントを停止しています。しばらくするとプリントを再開します。

デジタルカメラなどの外部機器との接続

症状	チェック項目	対処方法
カメラの液晶モニターに「PictBridge」マークが表示されない。	● ケーブルが正しく接続されていますか?	➔ ケーブルを正しく接続してください。
	● 本機の電源は入っていますか?	➔ 本機の電源を入れてください。
	● お使いのカメラがPictBridgeに対応していますか?	➔ お使いのデジタルカメラに付属の取扱説明書をご覧いただくか、デジタルカメラメーカーにお問い合わせください。
	● 本機の液晶画面に「接続中」と表示されていませんか?	➔ メニュー設定中、画像編集メニュー、クリエイティブプリントメニューを操作中には表示されません。一度メニューから抜けて再度ケーブルを挿入してください。 ➔ デジタルカメラと接続しなおすか、カメラと本機の電源を入れなおしてください。
	● お使いのデジタルカメラのUSB設定はPictBridgeモードになっていますか？	➔ お使いのデジタルカメラのUSB設定をPictBridgeモードに設定してください。
	● プリント中ではありませんか?	➔ プリントが終了してから、再度ケーブルを接続してください。

症状	チェック項目	対処方法
USBケーブルを抜き差ししても何も起こらない。		→ オーバーカレント（過電流）エラーが発生した可能性があります。 復帰するには、本機の電源をもう一度入れなおしてください。
取消ボタンを押してもプリントが中止されない。		→ 現在プリント中の次からのプリントが取り消されます。 → デジタルカメラによっては、本機の取消操作ではプリントを中止できない場合があります。その場合はデジタルカメラから操作してプリントを中止してください。デジタルカメラに付属の取扱説明書も併わせてご覧ください。
インデックスプリントができない。	• 「プリントデータを作成できない画像がありました。」と表示されていませんか?	→ 本機では、DPOFプリントのインデックスプリントはプリントできません。メモリーカードを直接本機に入れるか（➡ 別冊「はじめにお読みください」）、マスストレージ接続（36ページ）でインデックスプリントしてください。

パソコンとの接続

症状	チェック項目	対処方法
本機に接続したメモリーカードまたは外部機器の画像がパソコンで見られない。		→ 本機には、パソコンから本機のメモリーカードまたは外部機器の画像を読みとる機能はありません。
ドライバCD-ROMを紛失したので入手したい。		→ ソニーデジタルフォトプリンターホームページ（http://www.sony.co.jp/DPP/）からダウンロードしていただくか、またはお買い上げの販売店にご相談ください。
ドライバーがインストールできない。	• 手順通りインストールされていますか?	→ 取扱説明書の手順に従って、正しくインストールしてください。エラーが発生してインストールが強制終了した場合は、パソコンを再起動して再インストールしてください。
	• 他のアプリケーションを起動していませんか?	→ 他のアプリケーションソフトをすべて終了し、もう一度インストールしてください。
	• インストール用CD-ROMドライブが正しく指定されていますか?	→ マイコンピュータをダブルクリックして、開いたウィンドウにあるCD-ROMアイコンをダブルクリックします。以降の操作は、本書46ページをご覧ください。
		→ USBドライバーが正しくインストールされていないことがあります。もう一度、取扱説明書に従ってインストールしてください。

次のページにつづく

症状	チェック項目	対処方法
ドライバーがインストールできない。	● エクスプローラでCD-ROMが正しく読めますか?	➜ インストール用CD-ROMに異常がある場合、エクスプローラでCD-ROMが正しく読めるか確認してください。パソコンにエラー内容などが表示されましたら、そのエラーの原因を取り除き再度プリンタードライバーのインストールを行ってください。パソコンのエラー内容につきましては、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧ください。
	● ウイルス検知プログラムやシステムに常駐するプログラムがありませんか?	➜ ウイルス検知プログラムやシステムに常駐するプログラムがある場合、あらかじめ終了してください。終了した後、再度プリンタードライバーのインストールを行ってください
	● Windows Vista/XP/2000 Professional へ管理者権限のあるユーザーでログインされていますか?	➜ Windows Vista/XP/2000 Professional にインストールする場合、管理者権限のあるユーザーでログインしてからインストール作業を行ってください。
パソコンから印刷実行指示をしても本機が反応しない。		➜ パソコン画面上にエラーがない状態で本機が反応しない場合は、本機の液晶画面を確認してください。 エラー表示が出ている場合、以下の操作を行ってみてください。これで直る場合があります。 1.本機の電源の切/入を行う。 2.ACアダプターをコンセントから抜く。 3.そのまま5秒〜10秒程度放置し、再度ACアダプターをコンセントにつなぐ。 4.パソコンを再起動する。 上記の操作を行っても問題が解決しない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターまでご相談ください。
	●「ドキュメントをUSBに出力するときエラーが見つかりました。」のエラーメッセージが表示される。	➜ いったんUSBケーブルをはずしてから、再度接続し直してください。
フチ無に設定しても、ふち付きでプリントされてしまう。	● Picture Motion Browser以外のアプリケーションをお使いですか?	➜ Picture Motion Browser以外のアプリケーションでは、「フチ無プリント」に設定しても、フチ有にレイアウトして印刷するものがあります。以下の設定をしてください。 ーふち有/無の設定項目があるアプリケーションでは、画像が印刷範囲をはみ出しても印刷範囲いっぱいに印刷するように設定する。

症状	チェック項目	対処方法
ドライバーの［レイアウト］タブの［シートごとのページ］で設定した枚数と印画結果が違う。		→ 使用するアプリケーションによっては、アプリケーションで設定した値が優先されます。
メモリーカードから印刷したときと色が異なる。		→ メモリーカードからの印刷とパソコンからの印刷では、印刷までの処理が異なるので、全く同じにはなりません。

エラーメッセージが表示されたら

本機の液晶画面に次のようなエラーメッセージが表示されることがあります。以下に従って対処してください。

プリンター本体

エラーメッセージ	意味／処置
プリンターにエラーが発生しました。電源を入れ直して再度実行してください。	• 本機に何らかのエラーが発生しました。電源をいったん切り、再度入れてから操作してください。(何度もこのエラーが表示される場合はソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。)

メモリーカード関連

エラーメッセージ	意味／処置
メモリースティック／コンパクトフラッシュ／SDカード／外部機器がありません。	• メモリーカードがそれぞれのスロットに入っていません。または外部機器がPictBridge/EXT INTERFACE端子に接続されていません。メモリーカードをそれぞれのスロットに入れてください。または、外部機器を接続してください。(→別冊「はじめにお読みください」)
非対応メモリースティック／コンパクトフラッシュ／SDカード／外部機器が挿入されています。	• 非対応のメモリースカードが挿入されています。または、PictBridge/EXT INTERFACE端子に非対応の外部機器が接続されました。本機に対応しているメモリーカードまたは外部機器をお使いください。
画像がありません。	• メモリーカードまたは外部機器内に画像ファイルがありません。本機で表示できる画像ファイルの入ったメモリーカードまたは外部機器をお使いください。
プリント予約された画像がありません。	• DPOF設定された画像がありません。お使いのデジタルカメラでDPOF設定を行ってください。

次のページにつづく

エラーメッセージ	意味／処置
プロテクトファイルは削除できません。	● プロテクトファイルを削除するには、お使いのデジタルカメラでプロテクト設定を解除してください。
プリント予約された画像は削除できません。	● DPOFファイルを削除するには、お使いのデジタルカメラでDPOF設定を解除してください。
プロテクトされています。プロテクトを解除して、もう一度実行してください。	● "メモリースティック"が書込み禁止になっています。誤消去防止スイッチを解除してください。（→67ページ）
メモリースティック／コンパクトフラッシュ／SDカード/外部機器が容量不足です。	● メモリーカードまたは外部機器の容量が一杯のため、追加保存できません。画像を削除するか、容量のあるメモリーカードまたは外部機器をお使いください。
メモリースティック／コンパクトフラッシュ／SDカード/外部機器にエラーがあります。	● 何らかのエラーが発生しています。何度もこのエラーが表示される場合は、本機以外の機器でもメモリーカードまたは外部機器の状態をご確認ください。 *外部機器の場合 外部機器が書込み禁止になっている可能性があります。お使いの機器の書込み禁止設定を解除してください。デジタルカメラの内蔵メモリーは、書込み禁止の場合があります。
メモリースティック／コンパクトフラッシュ／SDカード／外部機器への書き込みエラーです。	
メモリースティックの初期化エラーです。	
メモリースティックは保護されています。	● 保護されている"メモリースティック"が挿入されています。画像の編集、保存を行う場合は、お手持ちの機器で保護を解除してください。

外部機器/PictBridge関連

エラーメッセージ	意味／処置
非対応のUSB機器が接続されました。接続した機器のUSB設定を確認してください。	● 本機でサポートしていないUSB機器が接続されたか、接続した機器のUSB設定が正しくありません。お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
USBハブ、あるいはUSBハブ内蔵機器は、サポートしていません。	● 本機に直接つなぐか、USBハブを内蔵していない機器をお使いください。
外部機器への書き込みエラーです。	● 外部機器が書込み禁止になっている可能性があります。 お使いの機器の書込み禁止設定を解除してください。デジタルカメラの内蔵メモリーは、書込み禁止の場合があります。

インクリボン

<table>
<tr><th>エラーメッセージ</th><th>意味／処置</th></tr>
<tr><td>インクリボンがありません。
インクリボンをセットして、
[印刷]を押してください。</td><td rowspan="2">● インクリボンを入れてください。「○○サイズ」と表示されている場合は、表示サイズのインクリボンを入れてください。（→ 別冊「はじめにお読みください」）
「クリーニング」と表示されている場合は、クリーニング用のクリーニングカートリッジを入れてください。（→63ページ）</td></tr>
<tr><td>インクリボンがありません。
「○○サイズ」のインクリボンをセットして、[印刷]を押してください。</td></tr>
<tr><td>インクリボンが終了しました。</td><td rowspan="2">● 新しいインクリボンを入れてください。「○○サイズ」と表示されている場合は、表示サイズのインクリボンを入れてください。（→ 別冊「はじめにお読みください」）</td></tr>
<tr><td>インクリボンが終了しました。
「○○サイズ」のインクリボンをセットして[印刷]を押してください。</td></tr>
<tr><td>インクリボンが正しくありません。
「○○サイズ」のインクリボンをセットして、[印刷]を押してください。</td><td>● 表示されているサイズのインクリボンとプリントペーパーを入れてください。（→ 別冊「はじめにお読みください」）</td></tr>
</table>

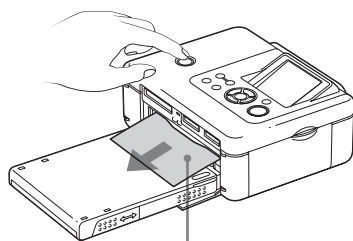
プリントペーパー

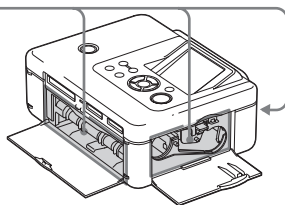
<table>
<tr><th>エラーメッセージ</th><th>意味／処置</th></tr>
<tr><td>ペーパートレイがありません。
「○○サイズ」のプリントペーパーをセットしたペーパートレイを挿入し、[印刷] を押してください。</td><td rowspan="2">● 次のいずれかが考えられます。
– ペーパートレイが入っていません。
– プリントペーパーがペーパートレイにありません。
– プリントペーパーが終了しました。
プリントペーパーをペーパートレイに入れてください。「○○サイズ」と表示されている場合は、表示サイズのプリントペーパーをペーパートレイに入れてください。（→ 別冊「はじめにお読みください」）</td></tr>
<tr><td>プリントペーパーがありません。
「○○サイズ」のプリントペーパーをセットして、[印刷] を押してください。</td></tr>
<tr><td>クリーニングシートがありません。
クリーニングシートをセットして、[印刷] を押してください。</td><td>● クリーニングシート（保護シート）がペーパートレイに入っていません。クリーニングシートをペーパートレイに入れてください。（→ 63ページ）</td></tr>
<tr><td>プリントペーパーが違います。
「○○サイズ」プリントペーパーをセットして、[印刷] を押してください。</td><td>● 本機に入っているインクリボンのサイズと、プリントペーパーのサイズが合っていません。本機に入っているインクリボンのサイズを確認のうえ、同じサイズのプリントペーパーを入れてください。（→ 別冊「はじめにお読みください」）</td></tr>
<tr><td>紙づまりです。
プリントペーパーを取り除いてください。</td><td>● プリントペーパーがつまっています。次ページの「プリントペーパーがつまったら」の手順に従ってプリントペーパーを取り除いてください。</td></tr>
</table>

プリントペーパーがつまったら

プリントペーパーがつまると、画面にエラーメッセージが表示され、プリントできなくなります。
インクリボン、ペーパートレイを取りはずさずに、つまったプリントペーパーを取り出してください。
トレーを取りはずしてしまった場合は、プリントペーパーが排出されるまでは取り付けないでください。

1 **電源をいったん切ってから、再度電源を入れる。**

自動的にプリントペーパーが排出されますので、お待ちください。

2 **排出されたプリントペーパーを取り除く。**

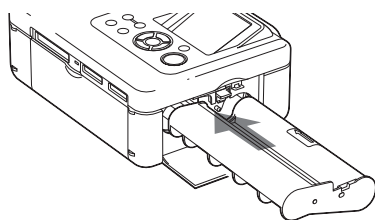
3 **ペーパートレイとインクリボンを取り出して、内部にプリントペーパーがつまっていないことを確認する。**

ご注意

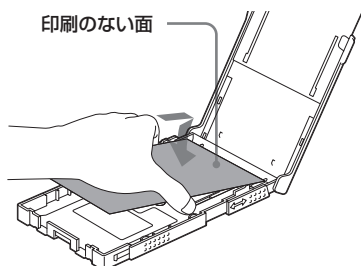
プリントペーパーを取り出せない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

本機内部のクリーニングをする

プリント上に白いスジや周期的に点状のキズが入るようになった場合は、同梱されているクリーニングカートリッジとクリーニングシートを使い、内部のクリーニングを行ってください。クリーニングを行う場合は、あらかじめメモリーカードや外部機器、USBケーブルなどをはずしてください。

1 **インクリボンカバーを開け、印刷用のインクリボンが入っている場合には、インクリボンを取り出す。**

2 **付属のクリーニングカートリッジを入れ、インクリボンカバーを閉める。**

3 **ペーパートレイを抜き、印刷用のプリントペーパーが入っている場合はすべて取り出す。**

4 **クリーニングシートを印刷のない面を上にして、ペーパートレイにセットする。**

5 **ペーパートレイを本機にセットし、印刷ボタンを押す。**

クリーニングカートリッジとクリーニングシートが本機内部をクリーニングします。クリーニング中は印刷ランプが点滅します。クリーニングが終わるとクリーニングシートがペーパートレイに排紙されます。

6 **クリーニングカートリッジとクリーニングシートを取りはずす。**

ちょっと一言

クリーニングカートリッジとクリーニングシートは一緒に保存してください。

クリーニングが終わったら

印刷用のインクリボンとプリントペーパーを入れます。

ご注意

- 印刷結果に白いスジや周期的に点状のキズが現れた時などは、クリーニングを行ってください。
- 正常なプリント結果が得られる状態で、クリーニングを行っても、プリント画質が向上することはありません。
- 印刷用のプリントペーパーの上にクリーニングシートを重ねて使用しないでください。紙づまりなどの原因になります。
- 一度では、クリーニング効果が得られない場合があります。その場合は、2､3度クリーニングすることをおすすめします。
- パソコン接続中や、PictBridge接続中はクリーニングできません。

使用上のご注意

設置上のご注意

- 水平な場所に置いてください。
- ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  －不安定なところ
  －ほこりの多いところ
  －極端に寒いところや暑いところ
  －振動の多いところ
  －湿気の多いところ
  －直射日光の当たるところ
- 本体の通風口をふさがないようにご注意ください。故障の原因となります。

ACアダプターについてのご注意

電源コンセントの形状は各国、各地さまざまですのでお出かけ前にご確認ください。
本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因になります。

結露について

本機を温度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたちこめた部屋に置くと、本機の内部に水滴のつくことがあります。これを結露といいます。
この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因となります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

引っ越しなどで輸送する場合は

輸送する場合は、インクリボン、ペーパートレイ、メモリーカード、外部機器、ACアダプターを本体から取りはずし、本機が梱包されていた梱包材および梱包箱に入れてください。これらがない場合は、輸送中の衝撃に耐えるように梱包してください。

お手入れ

本体の汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。シンナーやベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

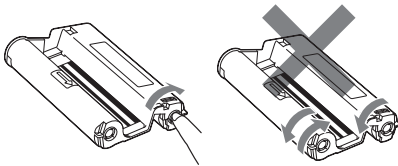
複製の禁止事項

本製品を使用して模造または複製する場合には、次の点に充分注意してください。

- 紙幣、貨幣、有価証券などの複製は禁止されており、処罰の対象となります。
- 各種の証明書、免許証、旅券、民間発行の有価証券、未使用の郵便切手などの複製は禁止されており、処罰の対象となります。
- 他人の著作権の目的となっている絵画、写真、書籍などは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

プリントパック使用上のご注意

インクリボン

- インクリボンのインクに触れないでください。インクに指紋やほこりが付着すると、きれいにプリントできないことがあります。
- リボンを巻き戻してプリントしないでください。正常なプリント結果が得られないばかりか故障の原因になります。インクリボンがうまく入らないときは、いったんインクリボンを取り出してから、入れ直してください。リボンがたるんでうまく入らない場合のみ、インクリボンのスプールを矢印の方向に回してリボンのたるみを取ってください。

- インクリボンは分解しないでください。
- インクリボンからリボンを引き出さないでください。
- プリント中はインクリボンを取り出さないでください。

プリントペーパー

- プリントペーパーは、印刷のない面がプリント面です。プリント面に指紋やほこりが付着しますと、きれいにプリントできないことがありますので、プリント面に手を触れないように注意してお取り扱いください。
- プリント前にプリントペーパーを折り曲げたり、プリントペーパーのミシン目を切り離したりしないでください。
- プリントする前のプリントペーパーについて、故障を避けるために、以下の点にご注意ください。
  - 字を書かない。(プリント後に油性ペンで記入してください)。インクジェットプリンター等での宛名印刷や、文字印刷はできません。
  - 切手やシールを貼らない。
  - 折ったり曲げたりしない。
  - プリントペーパーをトレイに追加する場合、総量が20枚を超えないようにする。
  - 違う種類のプリントペーパーをトレイに重ねて入れない。
  - 一度使用したプリントペーパーでプリントしない。(同じ画像を重ねてプリントしても、濃くなりません。)
  - 指定以外のプリントペーパーは使用しない。
  - 一度白紙で排出されたプリントペーパーでプリントしない
- プリンター故障の原因になりますので、一度使用したプリントペーパーでプリントしたり、リボンを巻き戻してプリントしないでください。
- プリント中は、ペーパートレイは抜かないでください。

保存時のご注意

- 使用途中で本体から取り出して長期保存する場合は、ほこりが付かないように製品の入っていた袋などに入れて保存してください。
- ペーパートレイに入れたままプリントペーパーを保存する場合は、ペーパートレイのカバーを閉じた状態で保存してください。

- インクリボン（プリントカートリッジ）は湿度や温度の高いところ、埃の多い所、直射日光のあたるところは避け、なるべく冷暗所に保存し早めのご使用をおすすめします。保存状態によっては変退色する場合があり、このようなインクリボンのご使用による印画結果の補償、代償はいたしかねますので、ご容赦ください。
- プリント面の表面に、可塑剤を含むプラスチック消しゴムやデスクマットなどを長時間触れさせせると変退色することがあります。

メモリーカードについて

"メモリースティック"について

"メモリースティック"とは？

"メモリースティック"は、小さくて大容量のICメモリーカードです。"メモリースティック"対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部メモリーカードの1つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

本機でお使いになれる"メモリースティック"

本機では以下の"メモリースティック"をご使用になれます。*3

"メモリースティック"の種類	表示・印刷	削除・保存・初期化
"メモリースティック"（マジックゲート非対応）	○	○
"メモリースティック"（マジックゲート対応）	○*1	○*1
"マジックゲートメモリースティック"	○*1	○*1
"メモリースティック　PRO" *2	○*1	○*1
"メモリースティックマイクロ" ("M2"*4)	○*1	○*1

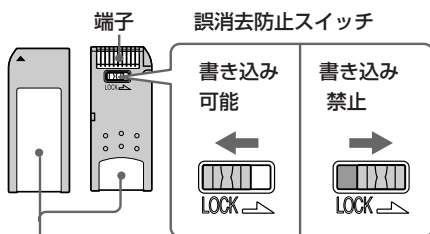
*1 著作権保護技術（"マジックゲート"）が必要なデータの読み込み、記録はできません。"マジックゲート"とは、ソニーが開発した、暗号化技術を使って著作権を保護する技術の総称です。

*2 本機には、スタンダード/デュオ サイズ対応スロットが搭載されています。"メモリースティック　デュオ"アダプターなしで、標準サイズの"メモリースティック"、小型の"メモリースティック デュオ"のどちらでもご使用いただけます。

*3 本機はFAT32に対応しています。8GBまでのソニー製"メモリースティック"で動作確認を行っています。ただし、すべての"メモリースティック"メディアの動作を保証するものではありません。

*4 "M2"は、"メモリースティック マイクロ"の略称です。本文では今後略称"M2"を用いて記述します。

使用上のご注意

- 使用可能な"メモリースティック"についての最新情報は、ホームページ上の「"メモリースティック"対応表」をご確認ください。(裏表紙)
- 複数の"メモリースティック"を同時に挿入しないでください。機器の破損の原因となる場合があります。
- ご使用の際は、正しい挿入方向をご確認のうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- "メモリースティック マイクロ"を本機でお使いの場合は、必ず"メモリースティック マイクロ"をM2 アダプターに入れてからお使いください。
- M2アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、"メモリースティック マイクロ"が取り出せなくなる可能性があります。
- デュオサイズのM2アダプターに"メモリースティック マイクロ"を入れ、それをさらにメモリースティック デュオアダプターに入れて使用した場合、動作しない場合があります。
- "メモリースティック デュオ"、デュオサイズのM2アダプター、M2メディアは小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。
- データの読み込み中、書き込み中には"メモリースティック"を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊することがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に"メモリースティック"を取り出す、または、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- パソコンで加工した画像は、再生できないことがあります。
- "メモリースティック"を初期化するときは、本機またはご使用になっているデジタルカメラで初期化してください。パソコンでフォーマットした場合、常に画像が表示されないことがあります。
- フォーマットを実行するとプロテクトをかけてある画像ファイルもすべて削除されます。誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。
- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると保存、削除ができなくなります。

- 誤消去防止スイッチが付いていない"メモリースティック デュオ"をご使用の際は、誤ってデータを編集したり、削除しないようご注意ください。
- "メモリースティック デュオ"の誤消去防止スイッチを動かす時は、先の細いもので動かしてください。
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。また、ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部にはみ出さないように貼ってください。
- ラベルを貼ったあとから文字を書き込む際は、あまり強い圧力をかけないでください。

次のページにつづく

- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 使用条件範囲以外の場所 (炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

SDカードについて

本機では下記をご使用になれます。

・SDメモリーカード (*1)
・MiniSDカード
・SDHCメモリーカード (*2)
・MMC規格メモリーカード (*3)

ただし、すべてのSDメモリーカード、MMC規格メモリーカードの動作を保証するものではありません。

*1　2GBまでのSDカードで動作確認を行っています。
*2　4GBまでのSDHCカードで動作確認を行っています。
*3　2GBまでのMMC規格メモリーカードで動作確認を行っています。

使用上のご注意

- カードの挿入口とカードの向きを正しくお使いください。
- 著作権保護技術が必要なデータの読み込み、記録はできません。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- SDカード は湿気に弱いため、湿度の高い場所ではお使いにならないようおすすめいたします。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- データの読み込み、書き込み中、アクセスランプが点滅中に、SDカードを抜かないでください。または電源を切らないでください。データが消えたり壊れたりすることがあります。

コンパクトフラッシュカードについて

本機では下記をご使用になれます。

- CompactFlash Storage Card（Type Ⅰ/TypeⅡ）またはCF+ Card（TypeⅠ/ TypeⅡ）準拠のコンパクトフラッシュストレージカード (*4)
- マイクロドライブ
- COMPACT VAULT

また、市販のコンパクトカードアダプター (*5) をお使いになることにより、下記をご使用になれます。

- スマートメディアカード (*5)
- xD-ピクチャーカード (*5)

ただし、すべてのコンパクトフラッシュカードの動作を保証するものではありません。

*4　コンパクトフラッシュカードは、電源仕様が3.3Vあるいは、3.3V/5Vのものをお使いください。5V専用、または3V専用のタイプは、お使いになれません。対応以外のカードを無理にお使いになると、本機の故障の原因となります。

*5 市販のコンパクトフラッシュカードアダプターをお使いの場合は、取り付け方法、使用方法については、アダプターの取扱説明書をご覧ください。アダプターによっては、メモリーカードのライトプロテクトをすると正しく動作しない場合があります。

使用上のご注意

- カードの挿入口とカードの向きを正しくお使いください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- カードは湿気に弱いため、湿度の高い場所ではお使いにならないようおすすめいたします。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- データの読み込み、書き込み中、アクセスランプが点滅中に、カードを抜かないでください。または電源を切らないでください。データが消えたり壊れたりすることがあります。

主な仕様

■ 本体

プリント方式

昇華型熱転写方式YMC3色重ね

プリント解像度

300 dpi x 300 dpi

画像処理

YMC各8ビット（256階調）

プリントサイズ

Lサイズ：
89 x 127 mm（最大、フチ無）
Pサイズ：
101.6 x 152.4 mm（最大、フチ無）

プリント時間（1枚）

[メモリーカード]*1*2*3*4
Lサイズ：約39秒
Pサイズ：約45秒
[PictBridge]*3*5
Lサイズ：約52秒
Pサイズ：約56秒
[PC]*6
Lサイズ：約42秒
Pサイズ：約50秒

入出力端子

USB端子（Full Speed）
PictBridge/EXT INTERFACE端子
"メモリースティック"スロット
SDカードスロット
コンパクトフラッシュカードスロット

プリント可能なファイルフォーマット

JPEG: DCF 2.0準拠、Exif 2.21準拠、JFIF*7
TIFF: Exif 2.21準拠
BMP*8: 1、4、8、16、24、32ビット Windows形式
画像の形式によっては、対応できないことがあります。

扱える最大画素数

8,000 x 6,000ドット
(インデックスとクリエイティブプリントの一部除く)

次のページにつづく

その他

扱える最大画像ファイル数

メモリーカード 1枚/外部機器1台につき 9,999枚

使用インクリボン／プリントペーパー

別冊「はじめにお読みください」参照

液晶画面

液晶パネル:
DPP-FP70: 6.2cm（2.5型）TFT駆動
DPP-FP90: 9.0cm（3.6型）TFT駆動
総ドット数:
DPP-FP70：115,200（480×240）ドット
DPP-FP90：230,400（320RGB×240）ドット

電源

DC IN端子入力、DC24V

消費電力

印刷時：80W（最大）
スタンバイ時：1W以下

動作温度

5°C～35°C

外形寸法

［DPP-FP70］
高さ: 約63 mm（LCD突起部含まず）
約72 mm（LCD突起部含む）
幅: 約180 mm
奥行き: 約137mm（ハンドル含まず）
約149mm（ハンドル含む）
［DPP-FP90］
高さ: 約66 mm
幅: 約180 mm
奥行き: 約137mm（ハンドル含まず）
約149 mm（ハンドル含む）
ペーパートレイ取り付け時の奥行き：
上記奥行きより長くなります。
Pサイズ: 約169 mm
Lサイズ: 約143 mm

質量

DPP-FP70: 約1.1ｋg
DPP-FP90: 約1.2ｋg
（ペーパートレイ、インクリボン、ACアダプター含まず）

付属品

別冊「はじめにお読みください」参照

■ ACアダプター AC-S2422

定格入力

AC100V - 240V、50/60Hz、1.5A -0.75A

定格出力

DC24V、2.2A（Peak3.7A、6.5ｓ）

動作温度

5℃～35℃

外形寸法

約 60 x 30.5 x 122 mm
（幅／高さ／奥行き）（突起部、ケーブル部を含まず）

質量

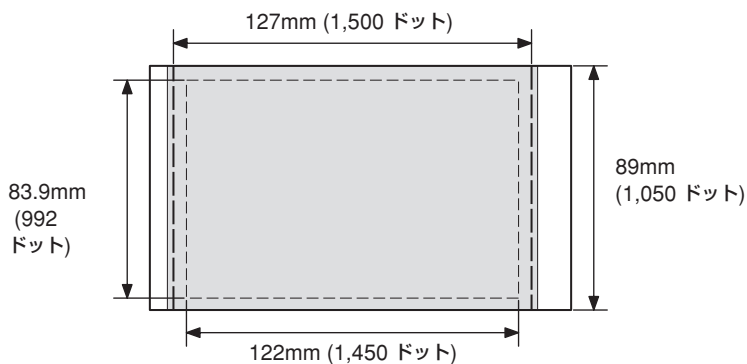
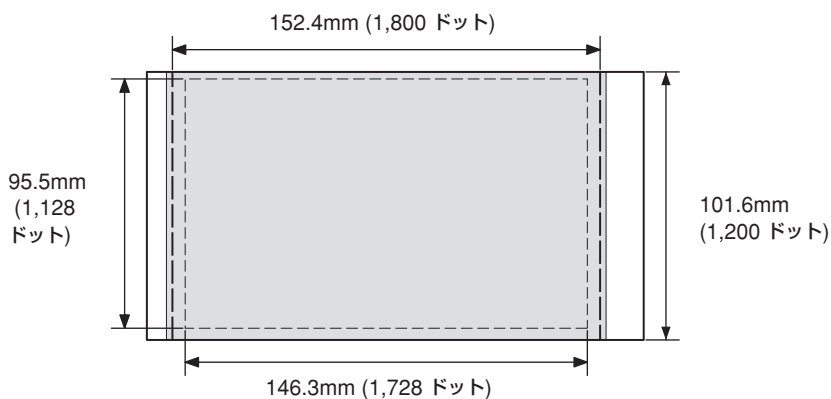
約 305 g

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

プリント可能な枚数の目安は約2,000枚（Pサイズ）です。総プリント枚数については、表示/本体の設定メニュー の本体情報表示をご覧ください（34ページ）。

*1 プリント設定：フチ無、日付けなし、AutoFinePrint4（写真）
*2 当社、有効1010万画素相当のデジタルスチルカメラで撮影した画像(ファイルサイズ 4.22MB)をプリントした時間
*3 印刷ボタンを押してからプリントが終了するまでの時間(使用される機器、画像データの大きさや形式、メモリーカードの種類、アプリケーション設定、使用条件によって変わる場合があります。)
*4 本機のスロットに挿入した"メモリースティック PRO デュオ"からのプリント
*5 DSC-N2をUSB接続し、「プリントボタン」を押してからプリントが終了するまでの時間
*6 データ転送時間とデータ処理時間を除く
*7 4:4:4、4:2:2、4:2:0形式のベースライン JPEG
*8 Picture Motion Browserからは印刷できません。

印刷範囲

Lサイズ

Pサイズ

上の図は縦横比が2：3の画像の場合の印刷範囲と余白を示しています。印画範囲は、フチ無、フチ有プリントによって異なります。フチ有プリントの場合、余白のサイズはプリントする画像の縦横比によって異なります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項に記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口、お客様ご相談センターへご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルフォトプリンターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：DPP-FP70／DPP-FP90
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日
- パソコンをご使用の場合はパソコンの環境:
  - －ご使用パソコンの機種名
  - －メモリー容量
  - －ハードディスクなどの容量
  - －プリンタードライバーのバージョン

用語集

DCF（ディー シー エフ）

DCF は、社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）で、主としてデジタルカメラなどの画像ファイルを、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File System」の略称です。ただし、「DCF 規格」は、機器間の完全な互換を保証するものではありません。

DPOF（ディーポフ）

デジタルカメラで撮影した画像をラボプリントショップや家庭用のプリンターで自動プリントするための情報を記録するフォーマットで、「Digital Print Order Format」の略称です。本機は、デジタルカメラで作成されたDPOFによるプリント予約および枚数予約に従って自動プリントを行うことができます。

Exif 2.21（Exif Print）（イグジフ2.21（イグジフプリント））

デジタルフォトプリントの世界標準規格です。Exif Printに対応したデジタルカメラでは、撮影条件に関する情報が画像データ タと共に記録されます。本機はExif Printに対応しており、記録された画像の撮影条件を読み取ることで、自動的に撮影意図をより忠実に反映した高品位なプリントができます*1。

*1 オートファインプリント機能を有効に設定している場合で、デジタルカメラでExif2.21規格にそって撮影された画像（JPEGファイル）は、自動的に最適な画像に調整されてプリントされます。

"メモリースティック"／コンパクトフラッシュカード/SDカード

小型のメモリーカードです。詳しくは、66～69ページをご覧ください。

PictBridge（ピクトブリッジ）

カメラ映像機器工業会(CIPA)で制定された統一規格のことです。PictBridge規格対応デジタルカメラと本機を接続して、デジタルカメラの画像ファイルをプリントすることができます。

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

➡ 2ページもあわせてお読みください。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属物や燃えやすい物など）を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

機器本体や付属品は、幼児の手の届かない場所におく

内部に手を入れると、挟まれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをすることがあります。また、本体小物部品、"メモリースティック"などのメモリーカードや、デュオサイズのM2アダプターなどの変換アダプターを飲み込む恐れがあります。幼児の手の届かない場所に置き、お子様が触らぬようご注意ください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

指定の AC アダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、使用しないでください。感電の原因になることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所では使わない

火災や感電の原因となります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置、取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

通風孔をふさがない

通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から20cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- 横倒しや逆さまで使用しない。

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。

通電中の本機や AC アダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

本機や AC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

本体内部の部品をさわらない

機構部品により、けがの原因となることがあります。
また、高温になった部品にさわると、火傷の原因となることがあります。

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

動作中、通紙口に手を触れない、また、覗かない

急に紙が出てきて、けがの原因になることがあります。

本体の上に乗らない、重いものを乗せない

落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

電源コード、ペーパートレイ挿入ドア、インクリボンカバー、ペーパートレイ、液晶部などを持って本体を持ち上げない

落ちたり壊れたりして、けがの原因になることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面に、強い衝撃を与えると割れて、怪我の原因となることがあります。

ハンドルを持ってふりまわさない。

ぶつけたり壊れたりして、怪我の原因となることがあります。

CD-ROM について

同梱されているCD-ROMを音楽用CDプレーヤーにかけないでください。耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホン等を破損する恐れがあり、故障の原因になることがあります。

お手入れの際は、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルを AC アダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

スーパーインポーズ文例集

スーパーインポーズ（手書きメッセージ）でご利用いただけます。あらかじめお使いのデジタルカメラで撮影し、「手書きの文字やイラストをスーパーインポーズする」（23ページ）の手順に従って、必要部分をトリミングしてお使いください。

あけましておめでとうございます！

暑中お見舞い申し上げます。

引っ越しました！

謹賀新年

謹賀新年

あけましておめでとうございます！

暑中お見舞い申し上げます。

引っ越しました！

謹賀新年

謹賀新年

次のページにつづく

あけましておめでとうございます!

暑中お見舞い申し上げます。

引っ越しました!

謹賀新年

謹賀新年

Happy New Year!

Seasons Greetings

Happy Holidays

Thank You!

Happy Birthday

次のページにつづく

Happy New Year!

Seasons Greetings

Happy Holidays

Thank You!

Happy Birthday

索引

アルファベット順

五十音順

■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

デジタルフォトプリンターの商品や最新サポート情報（製品に関するQ&A、プリンタードライバーのOS対応情報など）はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/DPP/

メモリースティック対応表

使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
http://www.sony.co.jp/ mstaiou/

電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください。）

お客さまご相談センター

●ナビダイヤル　0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）
●携帯電話•PHSでのご利用は　03-5448-3311
●FAXでのご利用は　0466-31-2595
受付時間：　月〜金曜日：午前9時〜午後8時
土、日曜日、祝日：午前9時〜午後5時
お問い合わせの際は、本機をお手元にご用意ください。

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心•便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同封のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/dpp-regi/

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/　Printed in China

この説明書は VOC (揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。